

授業科目名	解剖生理学	担当教官	浅見知市郎
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・木曜 限 後期・木曜 限
単 位	2単位	必 修	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	総論	解剖学という科目がいかなるものであるか解説する。すなわち、肉眼解剖、組織学、発生学といった構成からそれぞれの研究対象について理解させる。また、講義の進め方について説明する	
2	脈管系	リンパ系、脾臓、血液と血球について解説する	
3	脈管系	脈管系の中心をなす心臓の構造について講義する	
4	脈管系	全身の動脈のおおまかな走行について解説し、その中で特に重要と考えられるものについては詳しく説明する	
5	脈管系	全身の静脈のおおまかな走行について解説し、その中で特に重要と考えられるものについては詳しく説明する	
6	運動器	骨とはそもそもどのようなものか、構造と役割について総論的に解説する	
7	運動器	頭部と体幹の骨について、形態、その他の諸器官との関係について解説する	
8	運動器	上肢、下肢の骨の形態について解説する	
9	運動器	筋の総論と頭頸部、胸部の筋について解説する	
10	運動器	腹部、背部、上肢、下肢について説明する	
11	呼吸器系	鼻腔、副鼻腔、咽頭の構造と、それぞれの位置関係について講義する	
12	呼吸器系	喉頭、気管と気管支、肺について講義を行う	
13	消化器系	口腔から胃までの消化管について解説する	
14	消化器系	小腸と大腸の構造について講義する	
15	消化器系	肝臓、胆嚢、脾臓の構造と、それぞれの位置関係について詳しく解説する	
16	泌尿器系	腎臓、尿管、膀胱、尿道について講義を行う	
17	内分泌系	下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、胸腺、副腎、膵臓のランゲルハンス島について、位置、形態、ホルモンについて解説する	
18	生殖器系	男の生殖器(精巣と精巣上体、精管、精嚢と前立腺、陰茎、精液と精子)について講義を行う	
19	生殖器系	女の生殖器(卵巣、卵管、子宮、胎盤、膣と外陰部)について講義する	

回	講義題目	内容
20	神経系	中枢神経系(脊髄、延髄と橋、小脳、中脳、間脳、大脳半球、脳室系、髄膜と髄液、脳の血管)について
21	神経系	抹消神経系(脳神経、脊髄神経、自律神経)について
22	神経系	神経系の主な伝導路(反射路、知覚性伝導路、運動伝導路)について
23	感覚器系	<p>視覚器(眼球、眼球の付属器)、平衡感覚器(外耳、中耳、内耳)、皮膚(表皮、真皮、皮下組織、毛とその付属器、つめ、脂腺、汗腺、乳腺と乳房)</p> <p>*それぞれの単元の終わりに小テストを行います</p>
テキスト、教材、参考書		入門人体解剖学 南江堂

授業科目名	解剖生理学	担当教官	澤田 只夫
対象学生	1 学年	学期及び曜日・時限	前期・水曜 限 後期・水曜 限
単 位	2 単位	必 修	教室名前期 3 階階段教室 後期 3 階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	1) 序論	生理学とは、生理学の歴史、血液(血液のはたらき、一般的性質)	
2	2) 血液・間質液およびリンパ	血液の成分、凝固と線溶、赤血球沈降速度	
3		血液型(ABO 式、Rh 因子、Rh 型、白血球の型)	
4		間質液およびリンパ、体液の循環と移動(濾過拡散および浸透圧、毛細血管における体液の移動)、リンパ節と脾臓のはたらき、胸腺	
5		3) 体液と電解質 体液のあらし、体液の組成と pH、体液平衡の障害(アシドーシスとアルカローシス(代謝性/呼吸性))、脱水(純粋の水欠乏、ナトリウム欠乏)、浮腫(水腫)、電解質失調の臨床、水と電解質の補充液	
6	4) 循環	心臓の拍動(歩調とり、心筋の構造と収縮、心周期、心臓内腔の圧の変動、心音と心雑音、心臓に発生する電気、心尖拍動、心拍数、心拍出量)	
7		心臓の神経支配、血圧(平均血圧と脈圧、血圧の測定・異常、静脈圧、血圧に対する重力の影響)、血流の速度、脈拍	
8		5) 骨格筋 筋のあらし(筋の微細構造と収縮の機構、筋の特性の大要、筋の収縮の種類、電気の発生)	
9	6) 呼吸	筋のはたらきと変化(筋収縮時の化学変化、筋の緊張)	
10		運動時の身体の変化と筋疲労、筋の神経支配と動作、死硬直	
11		呼吸の調節(呼吸中枢、呼吸の制御異常に関する疾患の理解、新生児と第1呼吸)、呼吸運動(吸息と呼息、呼吸型)、呼吸困難	
12	7) 消化と吸収	肺の呼吸機能(肺気量、呼気・吸気・肺胞気と血液ガス、血液の酸塩基平衡と呼吸)、発声、運動(運動時の酸素摂取、運動によるエネルギー消費量の増加)	
13		1)~6)のまとめ	
14		口腔の作用(咀嚼、唾液の分泌、燕下)、食道の作用、胃の作用(胃の運動機能、胃の分泌機能(胃液))、嘔吐	
15	7) 消化と吸収	小腸の作用(胆汁、胆汁、小腸の運動機能、小腸の分泌機能(腸液)、小腸の吸収機能、下痢、腸閉塞(イレウス))	
16		大腸の作用(大腸の運動機能、大腸の分泌・吸収機能、排便、腸内の発酵と腐敗、便秘)、肝臓の作用、胆嚢の作用	

回	講義題目	内容
17	8) 腎臓および尿路	尿の生成と腎臓の働き(尿の生成と尿細管における水と電解質の移動、尿量、腎臓の働き、腎臓の疾患)、排尿と尿の成分(排尿のしくみ、尿の成分)
18	9) 内分泌	内分泌のあらまし、下垂体(前葉、後葉、中葉)、甲状腺、上皮小体(副甲状腺)
19		膵臓(インスリンとグルカゴンの分泌)、血糖の内分泌調節、糖尿病
20		副腎(副腎髄質、副腎皮質)、性腺(精巣ホルモン、卵巣ホルモン)、松果体、その他の内分泌様器官
21	10) 神経系	神経細胞の生理(神経細胞の興奮、活動電位の伝導、神経の興奮とシナプス伝達、全か無かの法則、反射とシナプス、神経線維、神経の物質代謝)
22		末梢神経系(脳脊髄神経系(体性神経系)、自律神経系(植物神経系))
23		中枢神経系(脊髄、脳幹、間脳および大脳(基底)核、小脳、大脳皮質、中枢神経系の障害)
24	11) 体温とその調節	体温(体熱の産生と放散)、体温の調節と異常(体温の調節、体温の異常)、発汗
25	12) 感覚器	皮膚感覚、深部感覚、内臓感覚、味覚、嗅覚
26		聴覚および平衡覚(外耳、中耳、内耳、聴覚、音の感覚)
27		視覚(視細胞、視覚の伝導路とその障害、光と色の感覚、順応、外眼筋による眼球運動の調節、眼球に関する反射)
28		1) ~ 12) の総まとめ
テキスト、教材、参考書		

授業科目名	体の発生と発達	担当教官	石川春律
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・水曜 限
単 位	2単位	必 修	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	生命と生物	生命とは生命の起源、生物の基本単位、生物をつくる物質(水、糖質、脂質、タンパク質、核酸)	
2	生命の基本構造	細胞とは、細胞の基本型、細胞膜、核	
3	同上	細胞小器官(小胞体、ゴルジ体、リソソーム、ミトコンドリアほか)、細胞骨格	
4	生命活動は化学反応	酵素の働き、食物とエネルギー、太陽エネルギーと光合成	
5	細胞から個体へ()	細胞分裂とその調節、染色体、生殖細胞、生殖腺、減数分裂と配偶子形成、受精	
6	細胞から個体へ()	受精から個体発生へ、性分化、初期発生、妊娠の維持、分娩	
7	細胞から個体へ()	細胞分化、組織形成、器官形成、成長と発達	
8	遺伝子()	遺伝子とDNA、遺伝子の構成と発現、タンパク質合成	
9	遺伝子()	遺伝子の損傷、修復、突然変異、遺伝子と健康、遺伝子操作	
10	身体の代謝の維持と活動の調節	体液の調節、血糖の調節、体温の調節、ホルモンと神経、神経系、筋収縮、細胞運動	
11	生体防御	生体防御の基本戦略、分子レベルの防御機構、細胞・組織レベルの防御機構、個体レベルの防御機構、免疫、疾病における防御機構	
12	生物の多様性と進化	動物と植物、微生物、ヒトの発祥と進化、進化の原動力	
13	人間と環境	食物連鎖と物質の循環、生態系、追い詰められた地球環境、環境汚染	
14	総まとめ		
テキスト、教材、参考書		「人間の生物学」 菊山、北川、桑沢、平田、音川、吉村著 培風館 改訂版	

授業科目名	物理学と看護人間工学	担当教官	武田淳史
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・木曜 限
単位	2単位	選択	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	医用工学から看護・生活支援工学への展開	生体医工学は、医学、生物学と工学の融合領域である。支援工学の中の看護人間工学と医用工学との関連について学ぶ	
2	もの作りと人体サイズとのかかわり	身長と身体各部の寸法と生活姿勢、作業姿勢のあり方について学ぶ	
3	感覚特性と安全性との関係	視覚特性と見えやすさ、触覚と操作性との関係などを通して安全性、快適性について学ぶ	
4	日常生活動作と使いやすさ	日常生活の行動と安全性、快適性のかかわりを学ぶ	
5	障害者の動作特性とバリアフリーデザイン	バリアフリーとは、その視点から障害者にとって安全かつ使いやすい配慮点を学ぶ	
6	高齢者の動作特性とバリアフリーデザイン	バリアフリーの観点から高齢者の行動特性を知り、設備、空間にどのような配慮を必要とするかを学ぶ	
7	病院内の空間について	主に病室における患者サイド、看護サイドの求められるスペースについて考える	
8	ベッドと安楽性について	患者の臥床体位の安楽性について理解し、同時に患者の生理学的関連についてもふれる	
9	動きやすさと使いやすさ (看護作業から見た)	看護作業の特徴から、看護姿勢をとりあげ安全性、安楽性について学ぶ	
10	動きやすさと使いやすさ (看護行動から見た)	病棟の配置、構造と看護行動とのかかわりについて	
11	体験学習	主に車イスの安全性、使用感について体験を通して相互に意見を述べ、討論する	
12	工学を医療福祉に役立てるには	医療福祉機器開発の製品化に至る過程で生じるさまざまな問題についてふれる	
13	社会で求められる医療機器とは	新しい健康文化の創出のために、求められる医療機器の姿とは	
テキスト、教材、参考書		講義の中で提示する	

授業科目名	栄養学	担当教官	澤田孝子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・木曜 限
単 位	1単位	必 修	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	看護と栄養学	栄養学とは	
2	ライフサイクルと栄養	ライフステージにおける栄養	
3	食品栄養学(1)	食品の成分と栄養価	
4	食品栄養学(2)	献立と調理	
5	人体の働きと栄養素(1)	人体と働き	
6	人体の働きと栄養素(2)	食物摂取と消化吸收	
7	栄養素の働き(1)	栄養素の種類	
8	栄養素の働き(2)	三大栄養素とその他の栄養素	
9	エネルギー代謝	食品のエネルギー、体内のエネルギー	
10	栄養所要量とエネルギー所要量	日本人の栄養所要量	
11	栄養状態の判定	個人の栄養状態の判定、集団の栄養状態の判定	
12	臨床と栄養	疾病と治療食	
13	食事療法(1)	消化器疾患、循環器疾患、代謝・内分泌疾患	
14	食事療法(2)	腎疾患 骨粗しょう症、貧血	
15	期末試験		
テキスト、教材、参考書		標準看護学講座「栄養学」金原出版	

授業科目名	生化学	担当教官	澤田孝子
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	後期・金曜 限
単 位	1単位	必 修	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	人体の構成	人体の組成	
2		生体高分子	
3		酵素	
4		細胞	
5	代謝	人体の代謝	
6		異化と同化	
7		糖質代謝	
8		脂質代謝	
9		アミノ酸代謝	
10		ヌクレオチド代謝	
11		たんぱく質の生合成	
12		DNA の複製と遺伝子組み替え	
13		電解質代謝	
14		エネルギー代謝と生体酸化還元	
15	前期試験		
テキスト、教材、参考書		「ナースのための生化学・栄養学」南山堂	

授業科目名	健康科学	担当教官	近藤照彦
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・火曜 限 後期・火曜 限
単 位	2単位	必修	教室名前期 体育館、グラウンド 後期4階普通教室
回	講義題目	内 容	
	前期		
1	オリエンテーション (3階階段教室)	教官紹介・授業目標・健康手帳・問診票・ライフスタイル調査・概要効果・形式・テキスト・成績評価・メッセージについて	
2	コンディショニング	学園周辺・天文台ウォーキング	
3	コンディショニング	12分間走オリエンテーション・ストレッチング	
4	12分間走	12分間走テスト・ストレッチング	
5	12分間走予備日	12分間走テスト予備日・ストレッチング	
6	選択ソフト・バスケ	グラウンド:ソフト・体育館バスケ	
7	選択テニス・バド・卓	屋外:テニス・体育館バドミントン・卓球	
8	選択ダンベル・エアロ	体育館:ダンベル・自転車・トレーニング・ストレッチ	
9	ソフト・車椅子バスケ	グラウンド:ソフト・体育館車椅子バスケ	
10	テニス・車椅子バスケ	屋外:テニス・体育館車椅子バスケ	
11	選択ソフト・バスケ	グラウンド:ソフト・体育館バスケ	
12	選択テニス・バド・卓	屋外:テニス・体育館バドミントン・卓球	
13	選択ダンベル・エアロ	体育館:ダンベル・自転車・トレーニング・ストレッチ	
14	野外活動	バーベキュー(予定)	
15	予備日	予備日	
	後期		
16	オリエンテーション(3F)	教官紹介・授業目標・健康手帳・問診票・ライフスタイル調査・概要効果・形式・テキスト・成績評価・メッセージについて	
17	講義(3F)	健康科学テキスト・健康手帳	
18	実習(3F)	皮下脂肪厚測定・体脂肪率測定(超音波法・BMI)	
19	運動	学園周辺・天文台ウォーキング	

回	講義題目	内容
20	講義(3F)	健康科学テキスト・健康手帳
21	実習(3F)	形態測定・関節可動域計測・筋・関節の触知
22	運動	学園周辺・天文台ウォーキング
23	講義(3F)	健康科学テキスト・健康手帳
24	実習(3F)	関節可動域計測・筋・関節の触知
25	運動	学園周辺・天文台ウォーキング
26	講義(3F)	健康科学テキスト・健康手帳
27	実習(3F)	障害者スポーツ
28	講義(3F)	リハビリテーション
29		まとめ
30		予備日
テキスト、教材、参考書		「健康科学、文化書房社」・「健康手帳」

授 業 科 目 名	心理学の基礎	担 当 教 官	大 沢 博
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	後 期 ・ 水 曜 限
単 位	2 単 位	必 修 ・ 選 択 必 修 ・ 選 択	教 室 名 4 階 普 通 教 室
回	講 義 題 目	内 容	
1	心理学とは何か	学問、科学としての心理学について 基本的仮説：行動は認識の場(心)の関数	
2	学習するということ	学習とは認識の場が分化すること 分化とは何か。分析と総合	
3	欲求について	欲求とは何か。欲求と認識	
4	身体的条件	体の構造、感覚器官、中枢神経系、栄養状態	
5			
6	自己概念	自己とは何か、自己概念とは何か 肯定的と否定的	
7	目標、価値	人生の意味、価値について	
8	脅威について	脅威の効果：自己防衛とトンネル視 脅威と挑戦	
9	パーソナリティ	健全なパーソナリティの特徴。不健全なパーソナリティの特徴	
10			
11	問題行動の理解	環境決定論と歴史決定論では理解できない 心理主義、生物主義、社会学主義の限界	
12			
13			
14	精神疾患	精神疾患への新しいアプローチ	
15			
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	文 学	担 当 教 官	藤 本 宗 利
対 象 学 生	1・2 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期 ・ 集 中 講 義
単 位	2 単 位	選 択	教 室 名 3 階 階 段 教 室
回	講 義 題 目	内 容	
	『源氏物語』の世界	『源氏物語』は、わが国の古典文学中で最も高名な作品の一つである。同時に、それ以後の文学作品や、美術工芸・遊戯・演劇など多方面にわたって、強い影響を及ぼしていることでも知られている。本講義では、その『源氏物語』からいくつかの場面を抄出し、その読解を通して、わが国の伝統文化に底流する「源氏物語的なもの」を理解しようとするものである。	
テキスト、教材、参考書		プリント配布	

授業科目名	教育学	担当教官	本吉修二
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・水曜 限
単 位	2単位	選 択	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
		<p>教育とは、人間が人間になる過程を助成するものである。</p> <p>この意味では、教育は生活のあらゆる場と時に存在している。そのような教育の本質や機能や方法などを研究し、よりよい教育を実現するための知見を提供するのが教育学の役割である。</p> <p>「現代教育の諸問題」と題して「高学歴社会の現実と教育」、「社会生活の豊さと教育」、「国際化の時代と教育」といったテーマについて学生に問題意識を喚起する。</p>	
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	カ ウ ン セ リ ン グ 論	担 当 教 官	北川公路
対 象 学 生	2 学 年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期 ・ 水 曜 限
単 位	2 単 位	選 択	教 室 名 4 階 普 通 教 室
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>心理学の研究方法</p> <p>カウンセリングとは何か</p> <p>カウンセリングの理論</p> <p>カウンセリングの方法</p> <p>カウンセリングと心理テスト</p> <p>カウンセリングの体験的理解</p>	
テキスト、教材、参考書		適宜案内する	

授業科目名	情報処理入門	担当教官	西谷泉
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・月曜・限
単位	2単位	選択	教室名 情報処理教室
回	講義題目	内 容	
		<p>現代社会は高度情報化通信化社会である。医療の社会にも情報通信化の波は着実に押し寄せてきており、今後医療の世界に入ろうとしているものにとって、情報科学・情報処理技術の要素は不可欠である。本講義では「情報」の概念、及び「情報処理」、「統計学」の基礎を指導する。併せて「情報処理」の中心となる「コンピュータ」について基礎知識を指導する</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報とは何か 2. 情報処理の基本的知識 3. データ処理の方法 (統計学の基礎知識) 4. コンピュータによる文字入力と文書作成 5. コンピュータの歴史 6. コンピュータの基礎知識 7. コンピュータの使い方 8. インターネット等の活用 	
テキスト、教材、参考書		「Windows 対応一太郎 8」、「Windows 対応ロータス 1.2.3」	

授業科目名	情報処理入門演習	担当教官	西谷 泉
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	後期・月曜 ・ 限
単 位	2単位	選 択	教室名 情報処理教室
回	講義題目	内 容	
		<p>本講義では、講義「情報処理入門」の演習である。よって「情報処理入門」とセットで受講しなければならない。1人1台のコンピュータを使用して演習する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの基礎知識 2. Windows について 3. ワードプロソフトの使い方 4. 表計算ソフトの使い方 5. 実例・演習を豊富に取り入れた情報処理の演習 	
テキスト、教材、参考書		「Windows 対応一太郎 8」 「Windows 対応ロータス 1.2.3」	

授 業 科 目 名	数 学	担 当 教 官	石 井 満
対 象 学 生	1 学 年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期 ・ 木 曜 限
単 位	2 単 位	選 択	教 室 名 3 階 階 段 教 室
回	講 義 題 目	内 容	
		1 行列 1) 定義 2) 演算 3) 行列の諸性質とその応用 2 微積分 1) 微分とその応用 2) 積分計算とその応用 3) 確率密度	
テキスト、教材、参考書		プリント	

授業科目名	統計学	担当教官	石井満
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	後期・木曜 限
単位	2単位	選択	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
		<p>医療、看護分野のデータを例題に用い 1. 記述統計 2. 正規分布 3. 推定 4. 検定 について講義する。</p>	
テキスト、教材、参考書		プリント	

授 業 科 目 名	社会保障制度と生活者の健康	担 当 教 官	内 藤 和 美
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期 ・ 金 曜 限
単 位	2 単 位	必 修	教 室 名 4 階 階 段 教 室
回	講 義 題 目	内 容	
1	社会保障の概念	近代市民社会の人の生存・生活に関する2つの原則、生活自助原則の限界、生活自助原則の限界への対応 = 生活保障システム(社会的生活保障システム = 社会保障/私的生活保障システム)	
2	社会保障の対象	生活問題	
3	社会保障の体系	社会保障の体系、社会保障の行政(行政機関、施策、関係専門職)	
4	公的扶助(生活保護)	生活保護とは、保護の4つの基本原理(国家責任による最低生活保障の原理、無差別平等の原理、最低限度の生活保障の原理、補足性の原理)生活保護実施上の原則(申請保護の原則、基準および程度の原則、世帯単位原則)	
5	公的扶助(続)	保護の種類 - 生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助、扶助の原則、目的、生活保護の動向、被保護者の権利と義務、生活保護制度運用の課題	
6	年金保険など	保健、保険者、被保険者、保険料、保険金、保険の2種類、日本の社会保険制度の最大の特徴、年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険、社会手当、所得保障3制度のまとめ	
7	医療保障	医療保険、医療保険による保険給付、給付の内容、給付率、医療保険制度の内訳、医療保険に関する制度、近接の制度	
8	介護保障	介護保険制度	
9	児童福祉	児童/こども、児童福祉の理念、児童福祉の法律、児童福祉の担当機関、児童福祉サービスの4体系、保育所について	
10	障害福祉(1)	障害と障害者、障害福祉の基本理念:ノーマライゼーション、日本における障害福祉の体系、身体障害者、身体障害児	
11	障害福祉(2)	知的障害者(児)、精神障害者	
12	障害をもつ人の“困難”と援助	視覚障害者、聴覚障害者、脳性まひ、脊椎損傷 脳血管障害後遺症、知的障害者	
13	高齢者福祉	基本理念、高齢者福祉の法律、高齢者福祉の施策と体系	
14	試験		
テキスト、教材、参考書		厚生統計協会『国民の福祉の動向』2000年度版	

授 業 科 目 名	社会保障制度と生活者の健康	担 当 教 官	内 藤 和 美
対 象 学 生	1 学年	学期及び曜日・時限	後期・木曜 限
単 位	2 単位	必 修	教室名 3 階階段教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	健康と公衆衛生	健康と環境・生活、公衆衛生の領域、公衆衛生活動の特徴	
2	疫学による健康の理解 (1)	健康の成立要因、健康に影響する環境	
3	疫学による健康の理解 (2)	疫学的方法による健康の理解	
4	健康の指標(1)	人口問題、人口動態統計	
5	健康の指標(2)	人口動態統計(続)、生命表	
6	感染症とその予防(1)	感染症とは、感染症の成立要因、感染症の流行、感染症の種類	
7	感染症とその予防(2)	感染症の動向、感染症予防の基本、その他の感染症予防対策	
8	食品保健と栄養	食品の安全、食品衛生管理、国民の栄養	
9	生活環境の安全(1)	経済発展と公害、広がる環境汚染、どのように点検するのか、化学物質の安全対策	
10	生活環境の安全(2)	日常生活の安全、廃棄物、生活廃水処理	
11	地域保健活動概説	地域保健法の成立と地域保健サービスの再構成、医療サービスの提供、保健医療従事者、ヘルスサービスの方向	
12	母子保健および学校保健概説	母子保健統計、母子保健サービス、学校における保健事業、感染症予防、学校環境衛生、学校安全、学校給食	
13	産業保健	産業保健、健康管理、作業管理、作業環境管理、職業病、労働災害	
14	試験		
テキスト、教材、参考書		清水忠彦他編「わかりやすい公衆衛生学」廣川書店 厚生統計協会「国民衛生の動向」2001 年度版	

授 業 科 目 名	社会保障制度と生活者の健康	担 当 教 官	
対 象 学 生	2 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	
単 位	2 単 位	必 修	
回	講 義 題 目	内 容	
		本年度開講せず	
テキスト、教材、参考書			

授 業 科 目 名	医療・看護と法律	担 当 教 官	内藤和美
対 象 学 生	2学年	学期及び曜日・時限	後期・水曜 限
単 位	2単位	必 修	教室名 4階普通教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	世界の医療と福祉(1)		
2	世界の医療と福祉(2)		
3	世界の医療と福祉(3)		
4	世界の医療と福祉(4)		
5	法規	法規の概念、法規の種類、日本国憲法、衛生法規	
6	保健婦助産婦看護婦法(1)	構造と附属法令、目的、定義、免許	
7	保健婦助産婦看護婦法(2)	業務	
8	医療法、医師法、歯科医師法	医療提供の理念、医療施設、診療に関する記録、医師の任務、免許、業務	
9	関連専門職に関する法規(1)	理学療法士、作業量追うし、臨床検査技師、診療放射線技師、視能訓練士臨床工学技士	
10	関連専門職に関する法規(2)	言語聴覚士、救命救急士、薬剤師、管理栄養士、栄養士、精神保健福祉士、社会福祉士	
11	薬事法	薬局、医薬品と医療機器、麻薬と向精神薬	
12	保健衛生法規(1)	地域保健法、母子保健法、老人保健法	
13	保健衛生法規(2)	精神保健及び精神保健福祉に関する法律、感染症の予防及び K ン戦勝の患者に対する医療に関する法律、結核予防法	
14	福祉関係法規	介護保険法、老人福祉法	
15	試験		
テキスト、教材、参考書		医療法制研究会『健康政策六法 平成13年度版』中央法規	

授 業 科 目 名	ケアの社会科学	担 当 教 官	内 藤 和 美
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前 期 ・ 水 曜 限
単 位	2 単 位	必 修	教 室 名 4 階 普 通 教 室
回	講 義 題 目	内 容	
1	ケアについて	ケアとは何だろうか、ケアのまわりにあること	
2	“家族”をどうとらえるか	“家族”という概念の限界、これらをどうとらえるか	
3	近代家族について(1)	近代家族の基本的性格、近代家族の機能	
4	近代家族について(2)	近代家族を支えてきたもの、近代家族の基本的不安定性	
5	家族の変化	家族の変化とは何か—形態の変化、条件の変化、機能の変化、規範の変化	
6	家族と暴力	なぜ「家族と暴力」か、児童虐待	
7	家族と暴力	ドメスティック・バイオレンス、老人虐待	
8	人権概論(1)	根本的課題としての基本的人権	
9	人権概論(2)	People による自由、戦後50年で問われていること	
10	人権各論(1)	なぜ「各論」が成り立つか、女性の人権	
11	人権各論(2)	子どもの人権、高齢者の人権	
12	人権各論(3)	民族的・地域的マイノリティの人権	
13	人権各論(4)	病気・障害と人権	
14	人権各論(5)	在日外国人の人権	
15	定期試験		
テキスト、教材、参考書		使用せず。プリントとノートによる。プリントを綴じるファイルを用意してください。	

授業科目名	経済学	担当教官	坂本俊造
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・金曜 限
単 位	2単位	選 択	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
	はじめに 経済のしくみ 景気変動 経済の中・長期変動 価格変動の背景 少子・高齢化問題 政府・日銀の役割 経済のグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> ・この講義のねらい ・経済を動かす諸要因 ・経済規模を示す GDP(国内総生産)とは ・経済成長をもたらす原動力は何か ・好況と不況、景気変動はなぜおきるか ・経済構造の変化 ・経済のサービス化の意味 ・物価変動の理由 ・インフレ、デフレとは ・少子・高齢化の進展と経済的インパクト ・社会保障、福祉政策への影響 ・経済に対する政府の役割 ・財政悪化の理由 ・金融政策の役割 ・円相場変動の理由 ・経済摩擦と WTO の機能 ・世界的な地域統合の動き <p>(以上はあくまで柱で現実の経済の動きに照らして随時入れ替えます)</p>	
テキスト、教材、参考書		大和総研「経済のしくみ」 日本実業出版社	

授業科目名	英語（基礎英語）	担当教官	河原崎やす子
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	通年・月曜・限
単位	2単位	必修	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	看護系学生に必要な英語の四技能	看護学の現場から書かれた読み物と会話を素材にしたテキストを紹介し、授業の進め方、評価、予習などについてオリエンテーション	
2	What Is a Nurse?	看護とは？様々な角度から看護に際してまず必要とされる単語と会話に触れる	
3	The History of Nursing	看護の歴史を英語で読む。リーディングが中心となる	
4	Patient-Nurse Relationship	患者と看護婦/士の関係はどうあるべきか。会話も交える	
5	Communication with a Patient	患者とのコミュニケーションはどうあるべきか。会話を中心に学ぶ。学生同志での擬似会話も練習する予定	
6	Intercultural Communication with a Patient	患者との異文化コミュニケーションに一步ふみこんで考えたい。非常に今日的トピックでもある	
7	Doctor-Nurse Relationship	医師と看護婦/士の関係を考える。リーディング中心に	
8	Related Professionals	関連のある職種の人々とはどういう人々だろうか。読みとり中心に	
9	Nurses and the Hospital	看護婦/士と病院の関係がどのように決まるのかを読む	
10	Nurses in the Community	地域における看護婦/士がどうあるべきか、読みとりおよび聞きとりディスカッションも交えたい	
11	Nursing in the Future	未来の看護はどうあるべきか。インターネット時代を視野にいれて考える	
12	まとめとディスカッション	自分の考える看護の理想をあらかじめ書いて来てもらい、それをもとに出来る限りディスカッションを試みる	
13	予備日		
テキスト、教材、参考書		南雲堂「看護系学生のための総合英語」マリリン・エドマンズ他	

授業科目名	英語 (オーライングリッシュ)	担当教官	澤田孝子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・水曜・木曜 限 後期・水曜・木曜 限
単位	2単位	選択	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1		It's nice to meet you	
2		Who are they talking about?	
3		When do you start?	
4		Where dose this go?	
5		Where is it?	
6		Tell me what happened	
7		Review 1	
8		I think I'd like that job	
9		What's playing?	
10		What are you going to do?	
11		How much is this?	
12		How was it?	
13		How do you make it?	
14		Review 2	
15		Examination	
16		How you two met	
17		You must be excited.	
18		Can I do that?	
19		Why?	
20		Making plans	
21		I have a question.	
22		Review 1	
23		Do you remember that?	
24		Which do you like better?	
25		What should I do?	
26		What's it like there?	
27		In my opinion...	
28		Tell me a story.	
29		Review 2	
30		Examination	
テキスト、教材、参考書		English Firsthand 1	

授業科目名	英語（外書講読）	担当教官	河原崎やす子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	通年・月曜 限
単 位	2単位	選 択	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	Introduction	このグローバルな時代に、日本の中に住む我々もはや国際感覚なしに過ごす事は不可能である。20世紀とはどういう時代だったのかを振り返ることによって、21世紀のビジョンも生まれてこよう。一つの角度から歴史を概観するテキストが、どのような意味を持つかを説明し、併せて授業の進め方、評価方法などを示す予定	
2	The New Phoenix of the 20th Century	20世紀の始まりは、ヴィクトリア女王の死、ガンジーの胎頭、共産革命などに色どられている。また科学の急速な進歩と産業の成長もめざましいものであった。その辺りをたどる	
3	The Dawn of the Modern Day	発明の時代でもある20世紀に焦点をあてる	
4	The Wheels of Progress	車の発明がいかに人間生活を変えて来たかをたどる	
5	The Lost Generation	狂乱の1920年代は「失われた時代」とも呼ばれ、バブルの時代であった。実際に何がおこったのだろうか	
6	Cultures under Control	30年代の不況に胎頭したのがヒットラーの全体主義であった。この時代は戦争に全世界が徐々につき進んだ時代でもある	
7	中間試験かレポート		
8	A World at War	第2次大戦は世界に何をもちたらし何を奪い去ったかを再度考える	
9	The Race into Space	戦後に起きた冷戦は世界を二分したが、宇宙開発の競争をももたらした。「冷戦」をキーワードに世界を分析する	
10	Love and Peace generation	戦争に反対する若者の心を平和運動がとらえ、キング師がその象徴ともなる。アメリカ国内をゆるがした平和運動は、公民権運動、女性運動へと広がり、全世界に及んだ	
11	The Environment under Attack	人類の進歩は環境破壊をもたらし、世界各地でその被害の実態が報告されている。この点にはじめて目が向けられたのが1970年代のことである	
12	The Age of Internationalism	国際化の時代である今日、我々が何をすべきか、さまざまなトピックを読み考えたい	
13	予備日		
テキスト、教材、参考書		金星堂「The World of the 20th Century」 Chirs Mosdell 著	

授業科目名	医療と医学	担当教官	栗田昌裕
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・金曜 限
単 位	1単位	必 修	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	医学のあらし	医学とは何か。基礎医学と臨床医学の具体的な内容の紹介。	
2	医療の資格と関連職	医療の資格。医療形態のさまざま。医療関連職。医学の流派。医療産業。	
3	医療と行政	診療形態。医療保険。公費負担医療。行政関連法規。	
4	医学の歴史(1)	古代の医学から中世の医学まで。日本の医学の歴史。	
5	医学の歴史(2)	近世の医学の歴史と20世紀の医学。	
6	病気の診断	診断学の歴史。病歴聴取。症候と所見。診断と検査。病名。	
7	病歴の記載	POS,POMR,SOAP、病歴の種類。他院・他医への紹介。	
8	臨床検査(1)	スクリーニング検査。特殊検査の内容。	
9	臨床検査(2)	X線検査。核医学検査。超音波検査。生理学的検査。	
10	最終診断	機能的診断。形態的診断。病因診断。合併症。誘因。鑑別診断。外因と内因。単一病因。複合病因。	
11	衛生統計	人口動態統計。有訴者率・通院者率。結核の実態調査。伝染病統計。生命表。死因統計。	
12	病気の治療(1)	原因療法。対症療法。予防療法。外科的療法。内科的療法。理学療法。作業療法。精神療法。化学療法。安静と食事の看護。	
13	病気の治療(2)	種々の薬物療法。	
14	予防医学と医療システム	病気の予後。医療情報。リハビリテーション医学。介護。ターミナルケア。脂肪判定。予防医学。日本の医療システム。診断書。	
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座「医学概論」日野原重明著、医学書院	

授 業 科 目 名	疾病の成り立ちと回復の促進	担 当 教 官	栗田昌裕
対 象 学 生	1学年	学期及び曜日・時限	後期・金曜 限
単 位	1単位	必 修	教室名 3階階段教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	病理学とは何か	病理学の方法。標本作成法。	
2	病因と病理学的表現	内因と外因。炎症。変成。壊死。代謝異常。再生・過形成・肥大。腫瘍。	
3	循環器疾患	動脈硬化。心筋症。心筋炎・心筋症。弁膜症。先天性の奇形。不整脈。大動脈瘤。大動脈炎症候群。閉塞性動脈硬化症。診断と治療と予防。	
4	血圧異常と高脂血症	高血圧症。低血圧症。高コレステロール血症。高 LDL 血症。低 HDL-コレステロール血症。食事制限。動脈硬化の危険因子。	
5	呼吸器疾患	鼻炎。気管支炎。気管支喘息。肺結核症。サルコイドーシス。塵肺。肺癌。肺癌。自然気胸。肺出血。肺循環障害。肺性心。胸膜炎。	
6	消化管疾患	食道炎。食道癌。胃炎。胃潰瘍・十二指腸潰瘍。胃腺腫。胃癌。炎症性腸疾患。大腸癌。イレウス。虫垂炎。腹膜炎。腸ポリープ。検査法。	
7	肝・胆道・膵疾患	肝炎。細胆管炎。脂肪肝。肝腫瘍。肝アミロイドーシス。肝硬変症。肝癌。胆のう炎。胆石症。胆のう癌。胆道ジスキネジー。肝・胆道疾患の診断。膵炎。膵癌。嚢胞性線維症。糖尿病。膵疾患の診断。	
8	腎・泌尿器系疾患	糸球体腎炎。ネフローゼ症候群。腎硬化症。腎盂腎炎。腎尿管結石。腎細胞癌。馬蹄腎。膀胱炎。前立腺肥大。精巣セミノーマ。陰茎癌。卵巣のう腫。子宮筋腫。子宮癌。性感染症。体外受精。クローン動物など。	
9	内分泌・代謝系疾患	下垂体疾患。松果体。甲状腺。上皮小体。副腎。精巣。卵巣。MEN 1型。MEN 2型。アミロイドーシス。糖原病。痛風。高脂血症。その他。	
10	神経系疾患	脳震盪・挫傷。脳卒中。脳虚血発作。髄膜炎。パーキンソン病。痴呆。ALS。多発性硬化症。公害病。水頭症。脳腫瘍。脳死。その他。	
11	血液・リンパ系疾患	貧血。多血症。白血病。腫瘍骨転移。リンパ節炎。悪性リンパ腫。転移性リンパ節しゅよう。血液凝固障害。その他。	
12	免疫系疾患	免疫不全。アレルギー。臓器移植拒否反応。自己免疫疾患。その他。	
13	奇形と遺伝子疾患	常染色体優性(劣性)遺伝病。伴性遺伝症。トリソミー。トリプロイディ。XO。遺伝子点変異。ミトコンドリア DNA 異常。発生異常など。14耳・眼の疾患。骨・関節系の疾患。	
14	その他疾患		
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座「疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学」中村恭一ら編集、医学書院	

授 業 科 目 名	疾病の成り立ちと回復の促進	担 当 教 官	
対 象 学 生	2 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	
単 位	1 単 位	必 修	
回	講 義 題 目	内 容	
		本年度開講せず	
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座「疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学」中村恭一ら編集、医学書院	

授 業 科 目 名	疾病の成り立ちと回復の促進	担 当 教 官	
対 象 学 生	2 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	
単 位	1 単 位	必 修	
回	講 義 題 目	内 容	
		本年度開講せず	
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座「疾病のなりたちと回復の促進[1]病理学」中村恭一ら編集、医学書院	

授業科目名	病態学	担当教官	浅原 廣澄
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	通年・水曜 限
単 位	2単位	必 修	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	循環器の疾患	循環のしくみと循環不全、心電図変化、虚血性心疾患、心臓弁膜症、先天性心疾患、高血圧、大動脈疾患	
2	呼吸器の疾患	呼吸のしくみと呼吸不全、呼吸器感染症、閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患、肺腫瘍	
3	腎疾患と体液異常	体液調節のしくみ、電解異常、腎炎、ネフローゼ、尿路疾患、腎不全、透析	
4	消化器系疾患	食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肝、肝道、膵の疾患	
5	代謝性疾患	糖尿病、高脂血症、痛風、アミロイドーシス	
6	内分泌疾患	ホルモンの作用と分泌の過不足による疾患	
7	血液疾患	赤血球、白血球、血小板の異常による疾患、リンパ節の疾患、止血凝固の異常	
8	免疫疾患	免疫のしくみと疾患、アレルギー疾患、膠原病、免疫不全	
9	神経疾患	神経疾患に関連する構造と機能、症状、脳血管障害、感染症、腫瘍、変性疾患、機能的疾患、末梢神経筋疾患	
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座(医学書院) 新版看護学全書(メヂカルフレンド) 成人看護ナース内科学(中外医学) コ・メディカルのための病態生理学アトラス(文光堂)	

授業科目名	微生物学	担当教官	澤田只夫
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・水曜 限 後期・水曜 限
単位	2単位	必修	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	1) 序論 (微生物学のなりたち)	微生物学とは(病原微生物と看護)/微生物学の歩み(近代微生物学のいしずえ)/生物学上の位置	
2	2) 細菌学総論	形態(大きさ・形・空間配列)と菌体の化学的組成(染色性・構造・組成)	
3		物理的・化学的環境および栄養と物質代謝	
4		感染と発病(感染と感染症/感染・発病を規定する因子/常在細菌叢/感染源と感染経路)	
5		滅菌消毒(滅菌法/消毒と消毒薬/消毒薬の検定法/消毒の実際)	
6		化学療法 (定義/化学療法の歩み/抗細菌性化学療法薬・抗真菌性化学療法薬・抗ウイルス性化学療法薬・抗がん性抗生物質)	
		化学療法 (薬剤感受性試験/抗菌スペクトル/耐性菌/化学療法薬の使用にあたっての注意事項)	
7		伝染病の予防(伝染病に対する処置/伝染経路に対する処置/個人的予防対策/集団的予防対策/院内感染/感染症のサーベイランス(感染症監視))	
		細菌学的検査法(顕微鏡/培養検査法/細菌の固定法/微生物の保存)	
8		細菌学総論のまとめ	
9	3) 免疫学	免疫応答の成立(免疫とは/免疫の種類/免疫系と免疫応答/抗原/抗原の認識/免疫の促進と抑制/免疫不全症候群)	
10		液性免疫(抗体/抗原抗体反応) 細胞性免疫(細胞性免疫/移植免疫と腫瘍免疫)	
11		感染防御免疫(感染防御免疫の種類/予防接種/血清療法および免疫グロブリン療法)など	
		免疫病(過敏症/自己免疫疾患)	
12		免疫学のまとめ	
13	4) 細菌学各論	グラム陽性球菌(ブドウ球菌属/レンサ球菌属) グラム陰性球菌および球杆菌(ナイセリア属/モラクセラ属/バイヨネラ属)	
14		グラム陰性好気性杆菌(シュードモナス属およびその類縁菌/ブルセラ菌/ボルデテラ菌/フランシセラ属/レジオネラ属)	

回	講義題目	内 容
15		グラム陰性通性嫌気性杆菌(腸内細菌科/ビブリオ科/ヘモフィルス属)
16		無芽胞偏性嫌気性菌(偏性嫌気性菌/無芽胞グラム陰性嫌気性菌/無芽胞グラム陽性嫌気性菌) グラム陽性無芽胞杆菌(乳酸菌属/リステリア属・エリジペロスリックス属/コリネバクテリウム属/マイコバクテリウム属/放線菌類)
17		グラム陽性芽胞形成杆菌(バシラス属/クロストリジウム属) カンピロバクターとヘリコバクター(カンピロバクター属/ヘリコバクター属/スピリルム)
18		リケッチア(発疹チフスリケッチア/発疹熱リケッチア/ロッキー山紅斑熱リケッチア 日本紅斑熱リケッチア/つつが虫病リケッチア/Q熱コクシエラ クラミジア(クラミジア-トラコマチス/クラミジア-シッタシ/クラミジア-ニューモニエ) マイコプラズマ
19		細菌学のまとめ
20	5) ウイルス学総論	ウイルスの特性と定義/ウイルスの構造/増殖/分類/ウイルスと宿主とのかかわり 合い
21		ウイルス感染症の実験室診断/ウイルス感染症の治療と予防/腫瘍(がん)ウイルス/ プリオンとプリオン病/エマージングウイルスとリエマージングウイルス
22	6) ウイルス学各論	DNA ウイルス(ボックスウイルス科/ヘルペスウイルス科/アデノウイルス科/パ ーバウイルス科/パルボウイルス科/ヘパドナウイルス科
23		RNA ウイルス (オルトミクソウイルス科/パラミクソウイルス科/ラブドウイルス科/ フィロウイルス科/ピコルナウイルス科/レオウイルス科/トガウイルス科)
24		RNA ウイルス (フラビウイルス科/コロナウイルス科/カリシウイルス科/アストロウ イルス科/ブニヤウイルス科/アレナウイルス科/レトロウイルス科/肝炎ウイルス/ 細菌ウイルス(バクテリオファージ)
25		ウイルス学のまとめ
26	7) 真菌学	真菌学総論(細菌との違い/形態/培養/抵抗力/病原性/真菌の化学療法薬/ 検査法/分類)
27		各種の病原真菌(接合菌類/子嚢菌類/担子菌類/不完全菌類/皮膚糸状菌 類)
28	8) 原虫学	根足虫類/鞭毛虫類/孢子虫類/繊毛虫類/その他
29		総まとめ
テキスト、教材、参考書		

授業科目名	薬理学	担当教官	澤田 孝子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・水曜 限 後期・水曜 限
単 位	2単位	必 修	教室名前期4階普通教室 後期3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	総論(1)	薬理学の概念	
2	総論(2)	薬の効力	
3	総論(3)	薬の有害作用およびその適用	
4	神経性調節(1)	末梢神経系作用薬	
5		末梢神経系作用薬	
6	神経性調節(2)	中枢神経系作用薬	
7		中枢神経系作用薬	
8	ホルモン	ホルモンの分類と働き	
9	オータコイドと炎症(1)	炎症のメカニズム	
10	オータコイドと炎症(2)	抗炎症薬の種類と薬効	
11	心臓血管系作用薬(1)	心臓血管系作用薬の種類とその作用点	
12	心臓血管系作用薬(2)	心臓血管系作用薬の適用と薬効	
13	呼吸器系作用薬	呼吸器系作用薬の種類とその適用	
14	復習		
15	前期試験		
16	消化器系作用薬(1)	消化器系作用薬の種類と作用点	
17	消化器系作用薬(2)	消化器系作用薬の薬効と副作用	
18	泌尿・生殖器系作用薬	泌尿・生殖器系作用薬の種類とその適用	
19	皮膚作用薬	皮膚作用薬の種類とその適用	
20	ビタミン	薬としてのビタミン	
21	化学療法薬(1)	抗生物質の種類とその適用	
22	化学療法薬(2)	悪性腫瘍に用いられる化学療法薬	
23	消毒薬と防腐薬	消毒薬と防腐薬の種類とその基礎知識	
24	生物学的製剤	生物学的製剤の作用原理	
25	薬物中毒	薬物中毒とその処置	
26	診断用薬物	診断用薬物とその基礎知識	
27	漢方薬	漢方医学の基礎用語と主な製剤	
28	総復習		
29	後期試験		
テキスト、教材、参考書		標準看護学講座「薬理学」 金原出版、「ナースのための薬の知識」 照林社	

授 業 科 目 名	リハビリテーション概論	担 当 教 官	松澤 正
対 象 学 生	2 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	後 期 ・ 火 曜 限
単 位	1 単 位	選 択	教 室 名 3 階 階 段 教 室
回	講 義 題 目	内 容	
1		リハビリテーションの歴史・定義について解説する	
2		リハビリテーションの分類について	
3		リハビリテーションの対象と障害論について解説する	
4		リハビリテーションのチームの組織について	
5		リハビリテーションの方法 評価法について	
6		リハビリテーションにおいて治療法について	
7		地域におけるリハビリテーションについて解説する	
8		リハビリテーションにおける補装具(義肢装具・自助具)	
9		脳血管障害による片麻痺患者のリハビリテーションの実際	
10		脳血管障害による片麻痺患者のリハビリテーションの実際	
11		整形外科疾患患者のリハビリテーションの実際について	
12		整形外科疾患患者のリハビリテーションの実際について	
13		小児科疾患(脳性麻痺)のリハビリテーションの実際	
14		呼吸循環器疾患のリハビリテーションについて	
15		まとめ	
テキスト、教材、参考書		テキスト:特に定めない 参考書:目で見えるリハビリテーション医学:上田 敏 :東京大学出版 リハビリテーション概論:砂原茂一:医歯薬出版	

授業科目名	救命救急医療	担当教官	矢嶋和江
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期・木曜 限
単 位	1単位	選 択	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1 ~ 3	救急医療と看護	1. 救急医療の変遷と今日の課題について概説する 2. 救急患者の特徴と、救急患者を取り巻く環境 *討論: 救急状況について 3. 救急看護の特性と求められる看護婦の役割を知る 冷静さ、沈着性、患者家族のプライバシー、人間の尊厳 *演習	
4 ~ 6	救急の病態とアセスメントの視点	1. 生命の危機状況とその判断基準 何を観察するのか、何が必要なのか 2. 救急状況に於ける心理的・身体的(社会)状況 ストレス、危機理論、不安と混乱状況	
7 ~ 13	救急処置と看護 *CPR の実際	1. 応急救命処置について(1次救命・2次救命) (シミュレーターによる救急蘇生法の演習) 2. 全身管理に必要な看護技術 循環管理 体液管理(輸液と輸血) 3. 救急時に用いられる医薬品の種類と期待する効果 4. 救急検査の内容と優先順位 5. 救急手術への対応	
15	まとめ	1. 救急状況における看護婦の役割 求められる知識・技術・態度 2. 人間の尊厳に対する姿勢 脳死や臓器移植、医療者側の守秘義務	
テキスト、教材、参考書		「救急看護」医歯薬出版 プリント VTR、参考文献随時提示	

授業科目名	看護学の基礎	担当教官	治田ヒロ子
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・月曜 限 後期・水曜 限
単 位	2単位	必 修	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	導入	授業の進め方について説明する。看護教育課程における基礎看護学の位置付けについて解説し、学習の動機付けとする	
2 ～ 5	看護の変遷	看護の歴史を学ぶ意味 看護の起源 宗教と看護 ナイチンゲールと看護 日本の看護 アメリカの看護	
6 ～ 8	看護の概念	看護の定義 看護の概念枠組み(モデル)の変遷 専門職としての看護	
9 ～ 12	看護の対象	人間の理解 生物体としての人間 生活体としての人間 統一体である全人間としての個人 病気を持った人間 健康破綻の過程に伴う看護	
13 ～ 15	看護における健康	健康とは 健康の諸段階と看護	
16 ～ 18	看護における環境	環境とは 環境が健康に及ぼす影響 環境への看護的アプローチ	
19 ～ 21	看護の機能と役割	看護の機能とは 保健医療福祉システムにおける看護の役割 看護の機能する場と看護活動	
22 ～ 23	看護と倫理	倫理とは 生命倫理 看護と倫理 患者の権利	
24 ～ 26	看護管理	管理とは 病院における看護組織とその役割 看護管理の実際 看護管理とリーダーシップ 看護婦のモラル 看護管理と経営	
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座「基礎看護学 1」医学書院 参考図書は随時紹介する	

回	講義題目	内容
27 ~ 30	まとめ	看護の社会的評価に関していくつかの視点から調べ、討議・発表する。 (グループワーク)

授業科目名	看護理論の基礎	担当教官	鹿村真理子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期・月曜 限
単 位	1単位	必 修	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	看護理論とは	看護理論とは	
2	ナイチンゲール	フローレンス・ナイチンゲールの看護理論	
3	ヘンダーソン	バージニア・ヘンダーソンの看護理論	
4	ウィーデンバック	アーネスティン・ウィーデンバックの看護理論	
5	ペプロウ	ヒルデガード・E・ペプロウの看護理論	
6	ロジャース	マーサ・E・ロジャースの看護理論	
7	オレム	ドロセア・E・オレムの看護論	
8	ロイ	シスター・カリスタ・ロイの看護理論	
9	レイニンガー	マドレイン・M・レイニンガーの看護理論	
10	グループ討議	看護理論を一つ選び、その枠組みと特徴についてグループ討議する	
11	グループ討議	同上	
12	グループ討議	同上	
13	グループ討議	同上	
14	発表	グループ毎に発表する	
15	発表	同上	
テキスト、教材、参考書		黒田裕子: やさしく学ぶ看護理論 日総研	

授業科目名	基礎看護技術	担当教官	鹿村眞理子 金古さつき他
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・木曜 限
単 位	2単位	必修	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	看護技術とは	看護技術とは	
2	環境	人間をとりまく環境を理解し、環境調整時における看護婦の役割を学ぶ	
3	病床の整備	病床の意義・ベットメーカーの種類と方法などについて学ぶ	
4	衣生活	衣生活の意義・リネン管理における看護婦の役割について学ぶ	
5	コミュニケーション	コミュニケーションの技法と看護への適応について学ぶ	
6	コミュニケーション	ロール・プレイングについて学習し、人間関係の擬似体験をする	
7	清潔	皮膚粘膜の解剖・生理の知識を基に清潔の意義・種類・方法などについて学ぶ。対象の生活習慣を把握し、清潔の適切な援助方法を考える	
8	清潔	全身清拭・部分浴・洗髪について演習し、評価する	
9	清潔	口腔ケア・陰部ケアなどについて演習し、評価する	
10	姿勢と体位	安楽な体位と動作の経済性を高める技術について学ぶ	
11	姿勢と体位	姿勢と体位・移動技術について演習する	
12	活動と休息	睡眠の生理を学び個人の睡眠習慣を把握する。睡眠と安息の援助方法を考える。レクリエーションおよび身体運動についても学ぶ	
13	栄養と食事	栄養と食事の生理的意味を理解するとともに、対象の食生活習慣を把握する。食事の適切な援助方法について学ぶ	
14	栄養と食事	さまざまな栄養法の実際について学ぶ	
15	実技試験	実技試験	
テキスト、教材、参考書		内藤寿喜子他:看護学全書基礎看護学 基礎看護技術、メヂカルフレンド社 池田明子訳:コミュニケーション、日本看護協会出版会 北米看護診断協会:NANDA看護診断 定義と分類 医学書院	

授業科目名	基礎看護技術	担当教官	鹿村眞理子 金古さつき他
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	後期・木曜 限 後期・金曜 限
単 位	2単位	必修	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	排泄	排泄の生理と観察法について学ぶ。個人の排泄パターンを知り、それが変調をきたした際の援助法について考える	
2	排泄	排泄障害をきたした際の援助技術について学ぶ	
3	排泄	排泄の援助技術(便尿器の与え方・浣腸・導尿等)について演習し、相互評価する	
4	バイタルサインズ	診療時の看護婦の役割を学ぶ。観察の技術として重要なバイタルサインズ(体温・脈拍・心拍・血圧・呼吸等)の意義について学ぶ	
5	バイタルサインズ	バイタルサインズの測定法について学ぶ	
6	バイタルサインズ	バイタルサインズについて演習し、評価する。あわせて記録や評価のしかたについても学ぶ	
7	電法	電法の基礎的知識と方法について学び、電法による皮膚温の変化についても演習する	
8	吸引と吸入	吸引と吸入の方法と効果的な援助方法について学ぶ	
9	身体各部の計測	身長・体重・胸囲・腹囲などの身体機能の計測の方法について学ぶ	
10	包帯	対象者に適した材料での的確な包帯を装着する技法を習得する	
11	安全	安全工学におけるフェイル・セーフの考え方を紹介し、医療における安全性について考える。感染予防では、手の衛生の3つの側面について学習する	
12	与薬	薬物療法についての的確な知識と技術を習得し、看護婦の役割について学ぶ	
13	与薬	輸液の準備と介助法、皮内注射・皮下注射・筋肉注射について演習する	
14	検査	検査時における看護婦の役割について学ぶ	
15	実技試験	実技試験	
テキスト、教材、参考書		内藤寿喜子:看護学全書 基礎看護学 基礎看護技術、メヂカルフレンド社 北米看護診断協会:NANDA 看護診断 定義と分類 医学書院	

授業科目名	基礎看護技術	担当教官	鹿村真理子 金古さつき他
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・月曜 限
単 位	2単位	必修	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	カウンセリング	看護におけるカウンセリングの位置づけとその技法について学ぶ	
2	カウンセリング	カウンセラーに求められる基本的態度およびリラクゼーションの方法について学ぶ	
3	医療における死	民俗学からみた死、安楽死裁判を通しての死などから死について考える	
4	医療における死	悲嘆のプロセスおよび死後の処置の方法について学ぶ	
5	健康教育	健康教育の歴史、教育診断的アプローチについて学ぶ	
6	健康教育	指導型の教育と学習援助型の教育の違いについて学ぶ	
7	健康教育	健康教育の評価について学ぶ	
8	健康教育	健康教育における看護婦の役割について学び、糖尿病教育の例を紹介する	
9	観察	観察の技術、方法、用語について学ぶ	
10	観察	観察の優先順位、長所と欠点について学ぶ	
11	観察	観察の方法を事例を通して学ぶ。	
12	記録	記録の重要性、記録の種類、記録上の注意について学ぶ	
13	記録	記録の管理、報告、審査等について学ぶ	
14	記録	POS やフォーカスチャータリング等記録の実際について学ぶ	
15	記録	プロセスレコードの方法を事例を通して学ぶ	
テキスト、教材、参考書		内藤寿喜子：看護学全書 基礎看護学 基礎看護技術、メヂカルフレンド社 北米看護診断協会：NANDA 看護診断 定義と分類、医学書院 古橋洋子：情報収集ガイドブック、メヂカルフレンド社 古橋洋子：PONR・看護診断、日総研	

授 業 科 目 名	看護過程論	担 当 教 官	
対 象 学 生	2 学 年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	
単 位	1 単 位	必 修	
回	講 義 題 目	内 容	
		本年度開講せず	
テキスト、教材、参考書			

授業科目名	在宅看護論の基礎	担当教官	佐光恵子
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	前期・金曜 限
単 位	1単位	必 修	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	在宅看護の概念	在宅看護の目的と役割, 位置づけ	
2	地域看護と在宅看護	看護の中の在宅看護の位置づけについて	
3	在宅ケアの在宅看護	在宅ケアの中での在宅看護の位置づけについて	
4	在宅看護の歴史	欧米における歴史について	
5	在宅看護の歴史	日本における歴史について	
6	在宅看護の現状	高齢化社会と疾病構造について	
7	在宅看護の現状	家族構成の変化、高齢者の医療保健福祉施策	
8	在宅看護の現状	介護老人と家族介護	
9	在宅看護の場	行政・医療機関が行う訪問看護	
10	在宅看護の場	訪問看護ステーション、民間の訪問看護	
11	在宅における看護の持続性	対象のライフサイクルに応じた看護の在宅における持続性	
12	施設看護と在宅看護	それぞれの特徴を比較する	
13	在宅看護の基本	在宅看護の機能、対象、展開	
14	在宅療養者の権利保障とめ	障害者のノーマライゼーションについて	
15	試験	* 在宅看護の現場に携わる方々の実際を紹介する機会を設定したいと考えています	
テキスト、教材、参考書		在宅看護論: 杉本正子、真船拓子著 廣川書店 他	

授業科目名	在宅看護活動論	担当教官	佐光恵子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・月曜 限 後期・木曜 限
単位	2単位	必修	教室名前期3階階段教室 後期4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	在宅看護活動とは	1年次の概要復習(在宅看護の目的・役割等)	
2	在宅療養者と家族	家族の機能と変遷	
3	在宅療養者と家族	現在日本の家族	
4	在宅療養者と家族	家族をとらえる視点	
5	在宅療養者と家族	介護の実態と家族支援	
6	在宅療養者と家族	在宅療養者への虐待の実態	
7	在宅看護と経済的側面	在宅療養の診療報酬体系、経済的負担	
8	在宅看護と法規	保助看法、医療法、老人保健法、地域保健法	
9	在宅ケアと法規	保険・医療・福祉関係機関の法的位置づけ	
10	在宅ケアと職種	保険・医療・福祉関係職種と連携	
11	在宅ケアシステム	在宅ケアの社会資源とシステム	
12	在宅看護の場の構造	在宅療養者の生活の構造、要介護量	
13	在宅看護の場の構造	家族の介護力	
14	前半のまとめ(中間試験)		
15	訪問看護過程の展開	在宅看護における看護過程、看護計画の位置づけ	
16	訪問看護過程の展開	アセスメント、基本的情報、内容の分析評価	
17	訪問看護過程の展開	事例を用いて演習	
18	訪問看護過程の展開	事例を用いて演習	
19	訪問看護過程の展開	事例を用いて演習	
20	訪問看護過程の展開	看護計画の立案	
21	訪問看護過程の展開	看護計画の立案	
22	介護保険法と在宅看護	介護保険法の導入の背景	
23	介護保険法と在宅看護	介護保険法下における現状と在宅看護の役割	

回	講義題目	内 容
24	在宅ケアチーム	在宅ケアチームの支援の実際
25	在宅ケアチーム	在宅ケアチームの支援の実際
26	ケアマネジメント	ケアマネージャーの法的位置づけ、機能、役割
27	まとめ	
28	試験	
テキスト、教材、参考書		「在宅看護論」(廣川書店) 「看護六法」「福祉六法」他

授業科目名	在宅看護活動論	担当教官	佐光恵子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・金曜 限 後期・金曜 限
単 位	2単位	必 修	教室名前期3階階段教室 後期4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	在宅看護活動とは	在宅看護活動の概念(目的・役割等)	
2	訪問看護の準備	必用物品、服装等について	
3	バイタルサインチェック	病状観察、情報収集について	
4	バイタルサインチェック	病状観察、情報収集について	
5	在宅看護の面接と相談	在宅における面接・相談場面の展開	
6	在宅看護の面接と相談	在宅における面接・相談場面の展開 ロールプレイ	
7	在宅看護の面接と相談	在宅における面接・相談場面の展開 ロールプレイ	
8	住・衣生活の援助	生活環境や生活スタイルに応じた援助方法	
9	住・衣生活の援助	生活環境や生活スタイルに応じた援助方法	
10	清潔の援助	清潔ケアについて	
11	清潔の援助	清潔ケアについて	
12	食生活の援助	食事介助や食生活環境の整備について	
13	食生活の援助	食事介助や食生活環境の整備について	
14	排泄の援助	排泄ケア、管理について	
15	前半のまとめ(中間試験)	まとめ	
16	服薬管理受診の援助	服薬管理について	
17	リハビリテーションの援助	リハビリテーションの特徴と援助について	
18	リハビリテーションの援助	リハビリテーションの特徴と援助について	
19	特殊な在宅看護技術	在宅酸素療法、排泄障害、経管栄養、CAPD 法等	
20	特殊な在宅看護技術	在宅酸素療法、排泄障害、経管栄養、CAPD 法等	
21	高齢者の看護	看護の特徴と留意点及び家族支援等について	
22	難病患者の看護	看護の特徴と留意点及び家族支援等について	

回	講義題目	内 容
23	身体障害者の看護	看護の特徴と留意点及び家族支援等について
24	感染症の看護	看護の特徴と留意点及び家族支援等について
25	急変時の看護	看護の特徴と留意点及び家族支援等について
26	終末期の看護	
27	在宅看護活動	まとめ
28	試験	
テキスト、教材、参考書		「在宅看護論」(廣川書店) 「基礎看護技術」(医学書院)

授業科目名	在宅看護論特講	担当教官	佐光恵子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期・月曜 限
単 位	1単位	選 択	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	地域看護の概念	概念、目的、対象、活動の場・手段、及び歴史	
2	地域看護活動の展開	看護過程の展開	
3	職域別看護活動	保健所、市町村における保健活動を中心に	
4	職域別看護活動	病院、産業、学校の保健活動を中心に	
5	活動の実際	個別指導を中心に グループワーク	
6	活動の実際	集団指導を中心に グループワーク	
7	地域看護活動の課題と今後の展望	グループワークの発表とまとめ	
テキスト、教材、参考書		地域看護学論：飯田澄美子著（メヂカルフレンド社）他	

授 業 科 目 名	成人看護学の基礎	担 当 教 官	伊東美緒
対 象 学 生	1学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前期・火曜 限
単 位	1単位	必 修	教室名 3階階段教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	成人看護学の理念 成人期の成長・発達	成人看護の理念を理解するために、青年期・壮年期・中年期の成長・発達、健康問題の特性を学ぶ	
2	成人期の健康に影響を及ぼす要因	成人期の健康に影響を及ぼす要因について、身体的・社会的・心理的要因に分類して理解する。健康指標などの統計的データを基に現代の成人の人々がおかれている状況を把握する	
3	援助関係の形成と問題解決のプロセス	よりよい患者 看護婦関係の形成と、健康問題を患者と共に解決しようとする姿勢の重要性を学ぶ 健康問題についてのアセスメントと患者教育の方法について学ぶ(ここで学んだことを11回におけるグループワークで活用する) ・オレムの看護論について一部触れる	
4 ~ 10	成人臨床看護総論	手術期・感染症・重篤・慢性疾患・リハビリテーション・癌の特徴を知る。その状態にある患者に求められる看護について概要を学ぶ ・グループワークの形式を取り入れ、生徒自身が文献を調べ、考えることを基本とする ・単行本:「死の医学」への日記 を用いて、癌患者とその家族の理解を試みる	
11	成人臨床看護技術	術前・術後、リハビリテーション、呼吸機能改善などの臨床看護技術に関する基本的知識を得る ・グループワーク・・・術前の患者教育について検討する	
12	成人保健活動の意義	成人保健の動向・生活のなかに見る成人の特徴を学ぶ。更に成人期に続く老年期を意識する。その上で、地域で成人期の人々に必要とされる保健活動について学ぶ	
13	保健活動の実際	個人の健康レベルに合わせた疾病予防と、地域における保健活動の実際を知る	
14	生活習慣病予防と産業保健の概要	生活習慣病についての知識を得た上で、その予防について学ぶ 産業保健活動の内容を知り、その重要性を理解する	
15	まとめ		
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座:成人看護学[1] 成人看護学総論 「死の医学」への日記 柳田邦夫 新潮文庫	

授業科目名	急性期の成人看護学	担当教官	矢嶋和江
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・木曜 限 後期・木曜 限
単 位	3単位	必修	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	外科看護の基本	外科看護の対象と目的 手術を受ける対象の理解	
2 3	手術前の患者管理	手術を受ける対象の心理的特徴を理解し、精神的ケアの技術について学ぶ 入院から手術に至るまでの看護過程を学び、術前管理の原理原則を理解する *GW:インフォームドコンセンスについて	
4 5	麻酔と看護	麻酔の種類とその特徴 麻酔時の看護と注意すべき合併症について理解する (特に、小児、高齢者に於ける麻酔時の留意点)	
6 7	手術室看護	手術室看護の目的と看護の役割 手術患者の環境としての手術室の構造、安全を重視した設備、感染防止対策などについて理解し、手術室看護婦の役割について学ぶ 手術室における看護を中心に患者の不安への援助の必要性を理解し、安全に手術が終了するまでの手術看護の展開技術を学ぶ 回復室看護の目的と看護の役割 手術直後の患者をアセスメントし、何をどう観察するのかを理解する	
8 9 10	手術後の合併症と回復への援助	手術侵襲が生体に及ぼす影響、生体の機能、心肺機能及び他の臓器への影響について理解する 手術後看護の特徴 術後合併症とその看護 高齢者の特徴と術前術後の管理	
11 ~ 16	消化器疾患の理解 (外部講師=6回)	消化器の機能及び疾患とその治療法について理解する	
17 ~ 20	消化器疾患患者の看護	消化器疾患の外科的治療を受ける患者の術前術後、および回復期の看護援助について学ぶ 胃切除患者の食事療法への援助 腸切除患者の看護	
21 22	腎臓・泌尿器疾患患者の看護	腎・泌尿器疾患の治療・検査等について概観し、外科的療法を受ける患者の看護について学ぶ 尿路変更術後の看護についてアセスメントし、看護援助を学ぶ	
23 24	ストーマリハビリテーション看護	排泄機能を装具により行わなければならない患者の援助について学ぶ 尿路変更術後、人工肛門造設術後のリハビリテーション	
25	*心電図について	心電図検査の目的と検査方法について学ぶ 波形各部の名称と異常波形について理解する (演習)	
26 ~ 27	循環器疾患の理解	虚血性心疾患についての病態及び治療・検査法について復習	

回	講義題目	内容
28 ~ 30	循環器疾患患者の看護	急性心筋梗塞患者の生命に対する不安や恐怖に対する看護介入の方法について学び、またリハビリ期における精神的・社会的な支援の必要性について理解する 心臓手術を受ける患者の術前術後に於ける看護について学ぶ
	<後期>	
1	呼吸器疾患患者の看護	呼吸器疾患の外科的治療を受ける患者の看護について学ぶ
2		肺切除術後看護及び合併症の防止について
3	人工呼吸器装着患者の看護	人工呼吸器を必要とする患者の呼吸管理の目的、人工呼吸器装着中の患者の看護について理解する
4	乳癌患者の看護	乳癌の手術を含む治療法について最新情報を取り入れて概観する
5	*事例検討	乳房切除に対するボディイメージの喪失とその受容過程への援助
6	内分泌疾患患者の看護	甲状腺の術前術後のアセスメントと看護援助について学ぶ
7	脳神経外科疾患患者の看護	脳外科対象疾患の外科的治療を受ける患者の看護について学ぶ
8	運動器疾患の理解	整形外科看護の特殊性や患者の心理的社会的、身体的バリアー環境に於ける基本的看護について理解する。また整形外科の治療法や検査法などについて概説する
~ 10		<ul style="list-style-type: none"> ・骨折、椎間板ヘルニア、変形性関節症、骨腫瘍、神経障害など ・固定法、牽引法、装具療法、関節造影、脊髄造影
11	・人工関節置換術を受ける患者の看護	外科的治療を受ける患者の看護と発生しやすい合併症について理解する 特に人工関節置換術及び術後のリハビリテーション
12	・脊髄損傷患者の看護	高位レベルでの損傷患者、特に若い年齢層の障害に対する受容過程への看護援助、家族を含めた社会の受け入れ体勢などを理解する。四肢麻痺患者のADL訓練の基本と廃用性症候の予防などについて学ぶ
13	・四肢切断術を受ける患者の看護	骨腫瘍にて切断術をうけた患者の心理的、身体的リハビリテーション過程をアセスメントし、具体的看護技術を学ぶ
14	院内感染の予防と看護	医療環境における感染管理と看護の果たす役割
15		感染症の今日的問題について概説し、感染症予防に伴う法的問題、患者隔離等に関する看護援助について理解する
テキスト、教材、参考書		メヂカルフレンド「臨床外科看護学:1・2」、「成人看護学:2・3・4・6・8・10」 その他:プリント等

授業科目名	慢性期の成人看護学	担当教官	武田淳史
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・火曜 限 後期・火曜 ・限
単 位	3単位	必 修	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	慢性疾患の特徴 (総論)	慢性疾患は、個人のそれぞれの生活のしかたに大きくかかわっており、いわゆる“生活習慣病”とも言われている。 この疾患の特徴を総論的に学び、各論との連続性を持たせる。	
2	慢性疾患患者の看護 (総論)	セルフケアの概念の理解と患者をとりまく環境、家族とのかかわり方を通して、看護の有り方を学ぶ。	
3	終末期患者とは (総論)	終末期患者のより深い、理解のために、あらためて「生」と「死」の問題にふれて見る。この点から、現代における終末期医療の有り方を、その問題点について学ぶ。	
4	終末期患者の看護 (総論)	終末期患者に対する、精神的、肉体的看護の有り方の理想と、現実の実態について学ぶ。	
5	がん患者の特徴 (総論)	がん疾患の基礎医学的知識と、その臨床医学的 主に治療法を中心に学ぶ。	
6	がん患者の看護 (総論)	がん患者に対する理解と、その家族を含む周囲との問題点を取り上げ、看護の有るべき姿を学ぶ。	
7 ~ 9	呼吸器疾患患者の看護 (各論)	呼吸機能を障害された患者の、疾患別特徴と個々の疾患に対する看護の有り方について学ぶ。	
10 ~ 12	循環器疾患患者の看護 (各論)	心機能をさまざまな形で障害された患者の、疾患別特徴と、その疾患に対する看護の有り方を学ぶ。	
13 ~ 15	血液・造血管疾患患者の看護 (各論)	血液疾患患者の特徴と、看護の特殊性を含めた、看護目標、援助について学ぶ。	
16 ~ 18	消化器疾患患者の看護 (各論)	消化器疾患の特徴を、主に消化管を中心に述べ、看護上の特長について学ぶ。	
19 ~ 21	肝・胆道・膵疾患患者の看護 (各論)	消化管以外の疾患の特徴を学び、慢性期看護の注意点について学ぶ。	

回	講義題目	内容
22 ～ 24	腎疾患患者の看護 (各論)	腎機能障害に至った患者の、疾患別特徴と看護の有り方、さらに最近増加傾向にある人工透析療法、移植についてもふれる。
25 ～ 27	内分泌疾患患者の看護 (各論)	下垂体、甲状腺、副甲状腺、性腺疾患を中心に疾患の説明と、その看護の有り方についてふれる。
28 ～ 30	糖尿病患者の看護 (各論)	現在増加傾向に有る、生活習慣病の一つの糖尿病を取り上げ、その特徴と看護上の注意点についてふれる。
31 ～ 33	感染症患者の看護 (各論)	感染症患者の特徴と、感染経路を含めた内容を理解し、看護上、重要な点を浮きぼりにして行く。
34 ～ 35	慢性疾患のまとめ (総論 + 各論)	慢性疾患の特徴の理解を深めるとともに、その上での看護の有り方を学ぶ。
36 ～ 37	終末期医療の問題点	現代における終末期医療の現状と、加えて看護上の問題点について学ぶ。
38 ～ 39	がん患者とホスピスについて	現代社会におけるホスピスの存在意義と、総合的看護の有り方について検討する。
40	総括	慢性疾患看護についてのまとめ
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座「成人看護学1、別巻10ターミナルケア」 新版看護学全書「成人看護学 2、3、4、6、7」を中心に用いる。

授業科目名	成人看護学特講	担当教官	武田淳史
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期・火曜 限
単 位	1単位	選 択	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	老年看護学から見た高齢者の特徴とその生活の有り方について(総論)	高齢者の看護を行うには、老いて生きる人々の生活と社会とのかかわりを理解した上に立っての、看護をめざす事が求められる。そして、実際に看護を行う上で、対象の高齢者について、理解を深める事が、ますます重要となって来ている	
2	老年看護の実際について(総論)	高齢者の生命維持、健康維持のための看護の実践について学ぶ	
3	老年期の理解と人々の特徴について 1)	老年期をライフサイクル、人口学的、健康指標、生活の視点から考える。また、高齢者の多様性についても学ぶ	
4	老年期の理解と人々の特徴について 2)	加齢に伴う身体機能の変化、精神的機能の変化、社会的機能の変化について学ぶ。また同時に高齢者の健康と家族、社会とのかかわりについてもふれる	
5	老年看護学としての基礎的技術と健康維持について	高齢者の健康維持と、慢性疾患に対する考え方、事故予防法について、さらにまた高齢者の観察を通した、本来のコミュニケーションの有り方について学ぶ	
6	障害を持つ高齢者の看護について	視覚、聴覚障害、痴呆等の疾病を持っている高齢者に対する看護上の問題点、実践法についてふれる	
7	治療を受ける高齢者の看護上の問題点	加齢と薬物の副作用発現、手術前後における注意すべき点などの、看護上重要となる問題点について学ぶ	
8	高齢者の終末期の看護について	高齢者の死の捉え方、看護上の注意点と、その家族に対する精神的看護の重要性について	
9	高齢者の老人保健施設、特別養護老人ホームにおける看護について	保健医療、福祉施設における看護の特徴について	
10	在宅高齢者の看護について	訪問看護の目的と役割を中心に、在宅看護の特徴について学ぶ	
11	高齢者を抱える家族の看護について	介護家族の生活と健康について、さらに又、今後の社会の動向について学ぶ	
テキスト、教材、参考書		医学書院の教材を中心に行なう	

授 業 科 目 名	老年看護学の基礎	担 当 教 官	前期:小泉美佐子 後期:伊藤まゆみ
対 象 学 生	1年生	学期及び曜日・時限	前期・火曜日 限 後期・火曜日 限
単 位	2単位	必 修	教室名前期4階普通教室 後期3階階段教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	-前期- 老年看護学の全体像	老年看護学の発達と展望	
2	高齢者イメージについて	各自の高齢者に対するイメージを話し合う	
3	人口高齢化への対応と課題(1)(2)	人口高齢化の推移・特徴、高齢化に伴う問題、わが国の高齢者医療・保健・福祉対策、社会情勢の変化に伴う課題	
4	老化現象について(1)	老化の概念、身体・生理的变化	
5	老化現象について(2)	感覚・知覚機能の変化、知的機能の変化	
6	老化擬似体験実習(1)	2グループに分かれて擬似体験実習	
7	老化擬似体験実習(2)		
8	高齢者の心の理解	老年期の生きがい、心理	
9	老年期の社会生活	老年期の就業・生計・学習・レクリエーション	
10	老人福祉センター見学(1)	2グループに分かれて見学実習	
11	老人福祉センター見学(2)		
12	ライフヒストリーインタビュー	身近な高齢者に対するフヒストリー(生活史)インタビューを夏休みにおこなう。	
13	-	それに向けてのガイダンス	
14	-後期- 後期授業ガイダンス	後期授業の展開方法と、ライフヒストリーインタビューの発表について	
15	ライフヒストリーインタビュー発表(1)	聴取したライフヒストリーとそこからの学びについて発表する(5名)	
16	ライフヒストリーインタビュー発表(2)	発表(5名)、まとめ	
17	高齢者とのコミュニケーションの基本	高齢者のコミュニケーションに関連する特徴の理解と、コミュニケーション技術の基本について	
18	日常生活の援助	高齢者が健康な生活を送るための基本的な援助技術について	
19	1. 食事		
20	2. 睡眠と休息		
21	3. 活動		
22	4. 清潔		
23	5. 環境と安全		
24	高齢者の病気の特徴	加齢に伴う身体的・心理社会的変化からおこる高齢者の病気の特徴の理解	
25	寝たきり高齢者の予防と看護	老年期の健康障害として大きな問題となりやすい、寝たきりと痴呆について、その発症機序、定義、治療と看護、リハビリテーション、予防方法について理解する。	
26	痴呆性高齢者の予防と看護		
26	科目終了試験		
テキスト、教材、参考書		奥野茂代、大西和子編「老年看護学」、 「老年看護学」 廣川書店	

授業科目名	老年の健康障害と看護	担当教官	栗田昌裕
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・金曜 限 後期・金曜 限
単 位	1単位	必 修	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	消化器系疾患(1)	胃・十二指腸潰瘍、胃癌、大腸癌、食道癌、胆石症、膵炎、ウイルス肝炎(A型肝炎、B型肝炎、C型肝炎)	
2	消化器系疾患(2)	アルコール肝炎、肝硬変、肝癌、老年者消化器疾患の看護(便秘、急激なやせ、栄養管理)	
3	代謝性疾患	糖尿病、痛風、肥満症とやせ、老年者代謝性疾患、の看護	
4	内分泌疾患	甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症)、副甲状腺疾患(副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症)、老年者内分泌疾患の看護	
5	膠原病	慢性関節リウマチ、シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、全身性硬化症(強皮症)、多発性筋炎(PM)、皮膚筋炎(DM)、混合性結合組織病、血管炎症候群、ベーチェット病、老年者膠原病の看護	
6	血液疾患(1)	貧血(鉄欠乏性貧血、症候性貧血、葉酸、ビタミンB12 欠乏性貧血【巨赤芽球性貧血】)、白血病(慢性白血病、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、骨髄異形成症候群)	
7	血液疾患(2)	悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、播種性血管内凝固症候群、老年者血液疾患の看護	
8	発熱	熱型、発熱患者の診断、老年者発熱患者の看護	
9	感染症	MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)、病原性大腸菌腸炎、偽膜性大腸炎、エイズ(AIDS)、インフルエンザ、老年者感染症の看護	
10	呼吸困難	呼吸困難度の目安、呼吸困難をきたす疾患、呼吸困難の発生機序、老年者呼吸困難の看護	
11	意識障害	意識障害者の救急処置、意識障害の原因(原発性脳障害、続発性脳障害、中毒)、老年者意識障害の救急看護	
12	痛み(1)	頭痛(機能的頭痛、症候性頭痛)、三叉神経痛、脊椎の障害(頸腕症候群、肋間神経痛、腰痛症、脊椎の障害(頸腕症候群、肋間神経痛、腰痛症、脊柱管狭窄症、肋軟骨関節炎)	
13	痛み(2)	肩関節周囲炎(手根管狭窄症)、変形性関節症、内科的疾患に伴う痛み(胸痛、腹痛、癌性疼痛、その他の内科疾患)、老年者の痛みの看護	
14	試験		
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座「老年看護 病態・疾患論」佐々木英忠著、医学書院	

授業科目名	老年の健康障害と看護	担当教官	武田淳史
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・火曜 限
単 位	2単位	必 修	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	(循環器疾患) 虚血性心疾患	虚血性心疾患の特徴を理解し、狭心症、心筋梗塞の診断、治療、さらに将来に向けての問題点について検討する。 又、患者の入院、外来における看護上の注意点について、病気の本質の理解を深めた上での大事な点についてふれる。	
2	高血圧と心不全	心不全の定義、原因、分類に対する理解を深めるとともに看護上の注意点等についてふれる。 高血圧と遺伝、又生活習慣との関連にふれ、食事療法を含めた治療、看護上の問題点について検討する。	
3	不整脈	不整脈の定義、分類について理解を深め特に治療上、又看護上で注意しなければならない不整脈出現時の対応について述べる。	
4	動脈硬化症と高齢者心疾患の看護	動脈硬化の原因、危険因子についてふれ、高血圧症、虚血性心疾患との関わりについて理解を深める。同時に高齢者心疾患の看護上の注意点についてふれる。	
5	(呼吸器疾患) 老人性肺炎と肺結核	日常診療、看護において高齢者で良く認められる呼吸器疾患の特徴と看護上でもっとも必要とされる治療、予防に必要な点についてふれる。	
6	閉塞性肺疾患 拘束性肺疾患	両者のちがいを理解した上で、呼吸器疾患の個々の特徴についてふれる。	
7	肺癌と高齢者呼吸器疾患	現在増加傾向に有る肺癌について、基礎的知識の確認と、看護上、患者に対する必要となる看護の問題点、注意点についてふれる。	
8	(腎・泌尿器疾患) 腎炎と腎不全	腎炎についてふれるとともに、急性、慢性腎不全の治療、看護の重要点についてふれる。	
9	尿路感染症	高齢者を含めた尿路感染症に対する理解を深める。	
10	前立腺と高齢者看護	前立腺肥大、癌と高齢者の泌尿器疾患の特徴についてふれる。	
11	(整形外科疾患) 大腿骨頸部骨折 変形性脊椎症 椎間板ヘルニア	主に高齢者で認められ、治療と看護上で高頻度に見られる疾患の理解を深めるとともに、その看護上の注意点についてふれる。	
12	(皮膚科疾患) アトピー性皮膚炎 老人性皮膚疾患	アレルギー反応が原因の皮膚疾患と感染症を中心とした皮膚疾患のちがいについて理解を深める。	
13	(眼科疾患) 白内障と緑内障	主に白内障と緑内障のちがいについて学ぶ。又最近糖尿病患者の増加とともに一般的に認められる糖尿病性網膜症についてふれる。	

回	講義題目	内容
14	(耳鼻科疾患) 難聴とメニエール氏病 アレルギー性鼻炎	耳鼻科疾患で一般に高齢者を中心に広く認められる疾患についてふれ、看護上の注意点について検討する。
15	高齢者と薬	高齢者は、一般に内科疾患をはじめとし、整形外科等に通院して投薬を受けている。 若者と比して、高齢者が薬を摂取する際の注意点についてふれる。
16	高齢者と手術	様々な疾患に高齢者がかかった際に、手術が必要となる時の適応条件についてふれる。
17	高齢者とリハビリ・福祉	整形外科治療中の高齢者のリハビリの重要点についてふれる。
18	終末期医療 ホスピスについて	尊厳死、終末期医療について看護上の問題点と哲学的討論も加えて話し合い、問題点を浮きぼりにする。
テキスト、教材、参考書		医学書院系統看護学講座を中心に

授業科目名	老年看護学特講	担当教官	岡田了三
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期・水曜 限
単 位	1単位	選 択	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	高齢者と家族の理解	老化の生物学的特徴 高齢者をかかえる家族	
2	高齢者とのコミュニケーション	高齢者との会話 高齢者への理解	
3	高齢者に対する治療・処置とその注意点	検査、食事、薬、スキンケア 褥瘡ケア、排泄失禁、終末期ケア	
4	高齢者によく見られる症状と徴候	嚥下障害、うつ状態、痴呆 浮腫、肩こり、関節痛、不明熱	
5	高齢者によく見られる疾患	脳卒中、虚血性心疾患、前立腺肥大、 腎不全、悪性腫瘍、骨粗鬆症	
6	高齢者ケアプランと実際	ADL、リハビリテーション、看護診断、 看護と介護、在宅看護、口腔ケア	
7	高齢者の保健・医療・福祉	老人保険法、介護強化病院 療養型病床、健康診断、健康教育、老人保健事業	
テキスト、教材、参考書		福地義之助編「高齢者ケアマニュアル」照林社(小学館)2000年5月	

授業科目名	小児看護学の基礎	担当教官	青山正征		
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	後期・金曜 限		
単 位	1単位	必修	教室名 3階階段教室		
回	講義題目	内 容			
1 2	小児看護の理念と諸統計				
3 4	小児の成長・発達				
5 6	小児の栄養と日常生活				
7 8	小児の家庭・社会と諸問題				
9 10	小テスト			学んだところまでのテスト	
11 12	小児臨床看護総論と疾病の経過				
13 14	小児の症状の観察と技術				
15 16	小児の入院と看護				
17 18	小児の入院と看護				
19 20	小児の健康障害に伴う諸問題				
21 22	小児の救急処置と看護				
23 24	心身障害児の看護、病棟管理				
25 26	テスト			全期にわたるテスト	
テキスト、教材、参考書				「小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論」 馬場一雄	

授 業 科 目 名	小児の健康障害と看護	担 当 教 官	青山正征
対 象 学 生	2 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	前期・金曜 限・ 限
単 位	2 単位	必 修	教室名 3 階階段教室
回	講 義 題 目	内 容	
1 2	出生前の疾患		
3 4	新生児の疾患と看護		
5 6	栄養障害と看護		
7 8	消化器疾患と看護		
9 10	呼吸器疾患と看護		
11 12	循環器疾患と看護		
13 14	血液疾患と看護		
15 16	小テスト	学んだところまでの小テスト	
17 18	悪性新生物と看護		
19 20	泌尿・生殖器疾患と看護		
21 22	神経・筋疾患と看護		
23 24	精神障害・行動異常と看護		
25 26	テスト	全体のテスト	
テキスト、教材、参考書		「小児看護学[2]小児臨床看護各論」 馬場一雄・吉武香代子編	

授 業 科 目 名	小児の健康障害と看護	担 当 教 官	重田政信
対 象 学 生	2 学年	学期及び曜日・時限	前期・火曜 限
単 位	1 単位	必 修	教室名 3 階階段教室
回	講 義 題 目	内 容	
	小児期の主要な健康障害に対する看護の基礎知識		
1		1. 内分泌疾患と小児の看護	
2		2. 成長障害と小児の看護	
3		3. 膠原病と小児の看護	
4		4. 代謝性疾患と小児の看護	
5		5. 代謝性疾患と小児の看護	
6		6. 免疫・アレルギー性疾患と小児の看護	
7		7. 感染症と小児の看護	
8		8. 感染症と小児の看護	
9		9. 感染症と小児の看護	
10		10.皮膚疾患と小児の看護	
11		11.運動器疾患と小児の看護	
12		12.眼疾患と小児の看護	
13		13.耳鼻咽喉疾患と小児の看護	
14		14.外科的疾患と手術を要する小児の看護	
15		15.外科的疾患と手術を要する小児の看護	
テキスト、教材、参考書		馬場一雄、吉武加代子編「小児科学[2]」医学書院	

授業科目名	小児看護学特講	担当教官	重田政信
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期・火曜 限
単 位	1単位	選 択	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1 2 3	1. 小児看護の特殊性の理解	1. 健康障害を持つ子供とその家族に対する包括的理解 2. 小児期の健康障害に影響する因子の情報分析能力 3. 小児期の健康障害の及ぼす社会的影響と予後の理解 4. 小児期の健康障害の看護目標の理解	
4 5 6	2. 小児看護の実務的知識	1. 小児疾患の緊急度の把握とその処理 2. 感染症と非感染性疾患の鑑別とその処理 3. 子どもと家族の緊張と不安の軽減 4. 子どもの発達段階に応じた説明と同意 5. 検査・手術や隔離の必要な子どもの取り扱いと、その心理的影響の理解 6. 障害を持つ子どもの生活と家族の関係の理解とその支援	
7	3. 小児看護の事例研究	1. 研究事例の分析による問題点の抽出と解決法の策定 2. 問題解決の優先順位と看護目標の設定 3. グループ討論による解決策の評価と修正	
テキスト、教材、参考書		馬場一雄・吉武加代子編：小児科学[2] 医学書院	

授 業 科 目 名	母性看護学の基礎	担 当 教 官	石沢敦子
対 象 学 生	1 学年	学 期 及 び 曜 日 ・ 時 限	後 期 ・ 木 曜 限
単 位	1 単 位	必 修	教 室 名 3 階 階 段 教 室
回	講 義 題 目	内 容	
1	母性看護の概念	母性とは 母性看護とは	
2 ~ 4	人間の性と生殖	性と生殖の概念 セクシャリティの分化と発達 生殖器の解剖 外性器・中性器・骨盤・男性性器の解剖 性機能の生理 卵巣の周期性変化・子宮の周期性変化 月経・性ホルモン・他 向老期の女性の看護 更年期・老年期の身体的・精神的特徴	
5 6	生殖器疾患の理解	良性腫瘍と悪性腫瘍 子宮外妊娠 性感染症	
7	母性の特徴	母性の心理 母性行動と母子関係	
8 9	母性看護の沿革と現状	母性看護の変遷と諸外国の現状 母性看護の現状と動向 母性看護に関する組織と法律 母性看護の場と職種	
10 11	女性のライフステージにおける看護	思春期 思春期の特徴 初経準備教育 母性の発達を促す看護 成熟期 結婚に関する指導 家族計画指導	
12 ~ 14	母性看護の技術	事例を通して看護過程を学ぶ 看護過程・保健指導 まとめ	
15	試験		
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座 「母性看護学」 1 医学書院 系統看護学講座 「成人看護学 8」 女性生殖器疾患患者の看護 医学書院	

授 業 科 目 名	母性の健康障害と看護	担 当 教 官	石沢敦子
対 象 学 生	2 学年	学期及び曜日・時限	前期 木曜 限 後期月曜 限、金曜 限
単 位	2 単位	必 修	教室名前期4階普通教室 後期 ³ 階階段教室、4階普通教室
回	講 義 題 目	内 容	
1	正常妊娠 妊娠の生理	妊娠の定義 妊娠の成立・妊娠の持続期間	
2	胎児の発育と生理	胎児の発育・胎盤の発育と機能・羊水	
3	妊婦の看護アセスメント	母体の妊娠による生理的变化	
4		胎児の健康と発育状態の診断 妊婦の心理・社会的特性	
5	妊婦の看護と保健指導	妊婦の健康診査	
6		保健指導	
7	ハイリスク妊娠	ハイリスク妊娠の看護	
8	正常分娩	分娩の3要素・分娩の機序・分娩経過	
9	産婦の看護	産婦の理解と看護 心理・社会的特性	
10	産婦の看護アセスメント	分娩の経過と看護	
11	ハイリスクおよび異常分娩 の看護	ハイリスクおよび異常分娩の産婦 産科手術を受ける産婦の看護 双胎分娩の産婦の看護 HIV 感染産婦の看護 産科合併症産婦の看護	
12	産科病棟管理	産科病棟の管理と看護体制	
13	正常産褥	身体的特徴 心理・社会的特徴 母子相互作用	
14	褥婦の看護アセスメント	早期産褥期・退院準備期	
15	褥婦・新生児の看護	褥婦看護の原則 乳房管理	
16	まとめ・中間試験		
17	異常褥婦の看護	産科手術後褥婦の看護 分娩後合併症の褥婦の看護	

回	講義題目	内 容
18	出生直後の異常新生児 リスクの高い褥婦の看護	新生児仮死の看護 問題を持つ褥婦の看護
19 20	褥婦の看護 (演習を含む)	授乳介助・母乳栄養の確立 産褥体操 健康づくりと保健指導
21	新生児の看護	身体的特徴 呼吸・循環・腎臓・消化器・肝臓
22	新生児の看護アセスメント	正常経過の新生児の看護 ハイリスク状態の新生児の看護
23 ~ 25	新生児看護演習	新生児の沐浴 新生児の身体計測 授乳指導
26	妊婦看護演習	骨盤外計測・腹囲・子宮低・触診法・児心音の聴取 妊婦体操
27 28 29	事例による看護過程の展 開	母性看護における情報の分析・アセスメント 看護問題の抽出・計画立案・実施・評価 正常経過をたどった初産婦・経産婦の事例検討
30	まとめ・試験	
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座「母性看護学」2 医学書院

授業科目名	母性の健康障害と看護	担当教官	石沢敦子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・水曜 限
単 位	1単位	必修	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	ハイリスク妊娠*	ハイリスク妊娠の定義・意義、スクリーニングの必要性、ハイリスク因子について学び、異常の早期発見と予測について考える 異常妊娠の病態・症状・診断・治療・胎児への影響、保健指導等について学ぶ	
2	異常妊娠*	妊娠中の母体の全身疾患 (妊娠中毒症 妊娠悪阻 妊娠中の偶発全身疾患 妊娠貧血等)	
3		妊娠中の偶発性器疾患 (性器の奇形 子宮筋腫 卵巣腫瘍 子宮の位置異常等)	
4		胎児および胎児付属物の異常 (胎児の異常 卵膜の異常 胎盤の異常 臍帯の異常等)	
4		子宮外妊娠 妊娠持続期間の異常(流産 過期妊娠) 妊娠中の感染症 妊娠と放射線 妊娠と公害 周産期の薬物使用 妊娠中の予防接種 胎児の発育異常 胎児の先天性異常(遺伝子病 染色体異常等)	
5	不妊症*	胎外受精 胚移植	
6	異常分娩*	異常分娩の原因を理解し、異常の早期に努め、産婦の苦痛を除去し、母体および胎児の安全をはかるための手だてを学ぶ 母体の異常(娩出力 産道の異常 裂傷 出血等) 胎児の異常(胎位 胎勢 回旋 発育 数等) 胎児付属物の異常(卵膜 胎盤 臍帯 羊水等) 分娩時の損傷 分娩時の異常出血 分娩ショック 産科手術	
7	異常産褥*	産褥期に多い疾患、特に感染症について理解する 産褥熱 性器の異常 泌尿器感染症 乳房の異常 産後に発症する精神障害等	
8	異常新生児	新生児仮死 蘇生法 分娩外傷	
9	ハイリスク妊娠の看護	事例を通して看護過程を学ぶ	
10	異常妊婦の看護	若年妊婦の保健指導 高齢妊婦の保健指導 マイナートラブルと保健指導 心身症とカウンセリング 合併症妊婦と看護	
11	異常妊婦の看護	妊娠中毒症 妊娠悪阻 流産	

回	講義題目	内 容
12	ハイリスクおよび異常分娩 産婦の看護	骨盤位 勤労妊婦への処置 HIV 感染産婦の看護 産科手術を受ける産婦の看護 骨盤位分娩産婦の看護
13	異常褥婦の看護	産科合併症産婦の看護 産科手術後の褥婦の看護 分娩後合併症の褥婦の看護
14	ハイリスク状態の新生児の 看護	母親が死亡した場合の看護 低出生体重児の看護 新生児仮死の看護 分娩外傷の看護 新生児の黄疸と看護 新生児の感染と看護
15	試験	<p data-bbox="578 1016 1105 1045">* 印は医師に講義の一部を分担していただく予定</p>
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座「母性看護学」2 医学書院

授業科目名	母性看護学特講	担当教官	大嶋 秀子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期・水曜 限
単 位	1単位	選 択	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1	看護過程の展開	母性看護における看護過程 情報収集 査定・看護診断 看護計画 看護実践 評価 母性看護における保健指導	
2		事例検討 正常妊婦	
3		事例検討 正常産婦	
		事例検討 正常褥婦	
4		GW 発表	
5		事例検討 異常妊婦・産婦・産褥の事例	
6		事例検討 母性衛生上問題をもつ事例	
7		GW 発表	
テキスト、教材、参考書		系統看護学講座「母性看護学」2 医学書院	

授業科目名	精神看護学の基礎	担当教官	田村文子
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	後期・火曜 限
単 位	1単位	必 修	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1 2	精神保健看護の歴史的変遷	精神障害者の処遇と精神保健看護について欧米、我が国の歴史的変遷を概観する。また、精神保健福祉の動向についても学習する	
3 4	心の健康	心(精神)の健康とは何かについて考える。心の健康に影響する要因をあげ、精神保健の意義について理解できる。心の健康をとらえる概念として、(1)正常と異常、(2)精神と身体、(3)発達論の視点から考える	
5 6	心の発達と健康	人のライフサイクル(乳児期・幼児期・児童期・青年期・成人期・老年期)における発達課題について概説する。家庭・学校・職場・地域などの環境と人間関係が心の健康・不健康(虐待、家庭内暴力、不登校、校内暴力、テクノストレス、燃え尽き症候群等)に及ぼす影響について学習する	
7 8	ストレスと適応	ストレスは環境(外界)からの刺激により引き起こされる。セリエによるストレス、ストレスラー、適応について学習する。ストレスが高いといわれる現代社会のさまざまな心の健康問題とストレスに適応していくためのウェルビーイング well being(心身のよりよい状態)について考える	
9	ストレスコーピング	ストレスに対するさまざまなコーピング法(ストレス対処法)について概説する。また、学生自身が体験しているストレスと対処法について発表し合う	
10	セルフケア理論	オレム、アンダーウッドによるセルフケア理論を用いて精神障害者のセルフケア活動について考える	
11 12	精神保健看護の位置づけ、機能	カリキュラム改正と精神保健看護学の位置づけについて概説する。また、精神の健康問題をもつ人々の不安や苦痛の軽減、その成長や自立をたかめるための精神保健看護の機能と役割、チーム医療について学習する	
13 14	精神障害者福祉の動向	これまでの精神障害者は多くのハンディキャップ(社会的不利益)を受けてきた。1995年の「精神保健および精神障害者福祉に関する法律」(精神保健福祉法)で精神障害者の真のノーマライゼーションの実現がめざされるようになった。精神障害者と社会参加について概説する	
15	まとめ	まとめ	
テキスト、教材、参考書			

授業科目名	精神の健康障害と看護	担当教官	田村文子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・火曜 限 後期・月曜 限
単 位	2単位	必 修	教室名前期4階普通教室 後期3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1 ～ 3	精神保健看護の基本	精神障害者が理解されてきた歴史と精神科看護の変遷について説明する。精神保健法の要旨、看護者に求められる資質、精神障害者とのコミュニケーションの特徴、患者 - 看護者関係、観察のポイント等について説明する	
4 ～ 7	精神分裂病患者の看護	精神分裂病のさまざまな状態(幻覚・妄想、無為自閉、拒絶、昏迷、自傷行為、攻撃、離院)にある患者に対する援助の方法について説明する。精神分裂病の急性期、慢性期にある患者に対する援助の方法について説明する	
8 ～ 9	感情障害患者の看護	軽度、重度うつ状態および躁状態にある患者にみられる身体症状(不眠、食欲不振等)および精神症状(抑うつ、不安などの感情障害、昏迷、抑制などの意欲・行動障害等)について事例を通して説明する	
10 ～ 11	てんかん患者の看護	てんかんのさまざまな発作(大発作、重積発作、小発作など)に対する看護援助および日常生活指導について説明する	
12 ～ 14	神経症患者の看護	神経症(ヒステリー、摂食障害、不登校等)の看護援助について事例を通して概説する	
15 ～ 16	ICU症候群、リエゾン精神科看護	ICU・CCU等における術後管理の過程でみられる特異な神経障害であるICU症候群について概説する。精神的危機が生じる医療、看護の中で、精神看護的な知識や技術を基盤とした助言を行い、患者 - 看護者関係を築くためのコンサルタントをするリエゾン精神科看護を概説する	
17 ～ 19	社会復帰活動と看護	社会復帰活動(作業療法・レクリエーション療法・生活指導・SST)の歴史的変遷および看護活動について説明する。また、精神科デイ・ケアの目的と活動の実際について説明する	
20 ～ 28	事例展開	事例(精神分裂病、うつ病事例)を用いた看護過程の展開 :グループワークと発表により看護診断について学習する	
テキスト、教材、参考書	新版看護学全書 36 精神看護学[2] メヂカルフレンド社 1997 (参)川野雅資:精神障害者のクリニカルケア メヂカルフレンド社 1998 Gail Wiscarz Stuart et al:神郡 博、田村文子他訳:精神看護学の新しい展開 医学書院 MYW 1997 M.Townsend: 神郡 博、田村文子他訳:精神科領域の看護診断 日総研出版 1990 新井治子編:看護データブック 医学書院 1998		

授業科目名	精神の健康障害と看護	担当教官	田村文子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	前期・月曜 限
単 位	1単位	必修	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
1 2	精神分裂病	精神障害の概念の変遷、精神障害の分類法(従来分類、国際的分類: ICD-10, DSM-IV)について説明する。また、現在の精神科治療の場は、病院から地域へとその中心を移そうとしている。入院患者の 60%を占める精神分裂病の概念、症状、診断、病型、治療(薬物療法、精神療法、社会復帰療法)について概説する	
3 4	躁うつ病	分裂病と並ぶ内因性精神病の躁うつ病の概念、症状、診断(単極型感情障害、双極型感情障害)、病因(性格要因、生物学的要因、環境要因等)、治療(薬物療法、電撃療法)について概説する	
5 6	神経症	精神的原因(心因)により生じる心身の機能障害である神経症の概念、神経症発症のメカニズム、性格と防衛機制、状態像・発症状況による分類、治療(精神療法(支持療法、表現療法、洞察療法、訓練療法、行動療法)および薬物療法)について概説する	
7 8	児童精神医学	心身の成長発達段階にある小児の精神医学が精神医療の独自の分野として発展していくことが社会的関心を集めている。児童・思春期の精神障害について子ども、家族、社会的環境要因の視点から考える。発達障害(発達遅滞・自閉症等)、神経症的障害(不登校、摂食障害等)、精神病的障害(精神分裂病、躁うつ病)について概説する	
9	てんかん	意識障害とけいれん発作を主徴とする慢性脳疾患であるてんかんの原因による分類(真性、症候性てんかん)、発作型による分類(部分発作、全般発作等)、検査、治療および精神症状について概説する	
10 11	老年期精神障害 (痴呆)	初老期・老年期の精神障害の痴呆性疾患(アルツハイマー型痴呆、脳血管性痴呆等)について、痴呆の概念、症状、検査等について概説する	
12 13	脳器質・症状精神病	脳器質性精神病(脳腫瘍、脳炎、進行麻痺)および症状精神病(アルコール依存、薬物乱用の身体症状、精神症状、治療)について概説する	
14	物質関連障害	物質乱用による依存、嗜癖について概説する(アルコール、薬物など)	
15	薬物療法	精神科領域で用いられる薬物療法の主作用・副作用、看護の観察のポイントについて概説する	
テキスト、教材、参考書		新版看護学全書 36 精神看護学[2] メヂカルフレンド社 1997 G.W.Stuart et al. 神郡 博、田村文子他訳:精神看護学の新しい展開 医学書院 1998 Mary C. Townsend、神郡 博、田村文子訳:精神科領域の看護診断、日総研出版 1990	

授業科目名	精神看護学特講	担当教官	田村文子
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期・月曜 限
単 位	1単位	選 択	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	精神保健福祉活動	精神障害者観の変遷を法的側面(精神衛生法や精神保健福祉法など)からとりあげる	
2	リエゾン精神看護	精神科リエゾン看護の概略とその実践について文献抄読を中心に学習する	
3			
4		看護の場のストレスについて考える	
5	PTSD	PTSD(Post Traumatic Stress Disorder : 心的外傷後ストレス障害)に関する文献を抄読し、こころのケアについて学習する	
6	社会的ひきこもり	最近の社会問題となっているひきこもりについて学習する	
テキスト、教材、参考書			

授業科目名	看護研究	担当教官	内藤和美
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期・金曜 限
単 位	1単位	必修	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	研究ということ	研究とはどういうことか、研究の目的のいろいろ、研究の種類、文献(種類、検索、入手、整理)	
2	研究論文の構成と書き方	標題、はじめに、対象と方法、結果、考察、おわりに、付記・謝辞等、文献、図表	
3	事例報告	事例報告書の特徴、事例報告の進め方	
4	看護の事例報告を読む	ワークシートに記入しながら、事例報告の実例を読む	
5	事例研究	事例研究の特徴、事例研究のいろいろ(目的による、記述のしかたによる、資料の収集方法による)、事例研究の進め方	
6	看護の事例研究を読む 1	ワークシートに記入しながら、事例報告の実例を読む	
7	看護の事例研究を読む 2	ワークシートに記入しながら、事例報告の実例を読む(続)	
8	看護の事例研究を読む 3	ワークシートに記入しながら、事例報告の実例を読む(続)	
9	実態調査研究	実態調査研究の特徴、実態調査研究のいろいろ(目的による、記述のしかたによる、資料の収集方法による)、実態調査研究の進め方	
10	実態調査研究を読む 1	実態調査研究の実例を読む	
11	実態調査研究を読む 2	実態調査研究の実例を読む(続)	
12	実態調査研究を読む 3	実態調査研究の実例を読む(続)	
13	演習	既存論文の「目的」「方法」「結果」までを資料として呈示・配布する。それを用いて関連文献を参照しながら自分なりの「考察」を組み立てる	
14	演習	同上	
テキスト、教材、参考書		プリントと資料による	

授業科目名	看護研究	単位認定者 担当教官	松澤正 全教員
対象学生	3学年	学期及び曜日・時限	前後期
単 位	1単位	選 択	教室名
回	講義題目	内 容	
	研究テーマの確定 目的の明確化 方法の決定 データの収集 データの集約・分析・考察 中間発表会 論文作成 研究成果発表会 論文提出	各担当教員の指導のもと、グループ単位の共同作業により以下のことに取り組む 看護研究 で大筋を見定めた研究テーマの具体化 何を明かにしたいのかを明確にする その目的を達成するために、どのような方法でどのようなデータを収集し、収集したデータをどのように集約・分析するのかを決める データの収集 データを集約し、それについて分析・考察を行う 得られた成果について中間的な口頭発表を行う(9月) 論文を作成する 12月 冬季休業明け締切	
テキスト、教材、参考書		担当教員の指導による	

授業科目名	生命倫理	担当教官	村上隆夫
対象学生	3学年	学期及び曜日・時限	前期・集中講義
単位	1単位	必修	教室名 3階階段教室
回	講義題目	内 容	
		ヨーロッパの哲学と思想の発展を概括しながら、身体と理性との関係及び他者の身体へのケアと他者の理性・人格への尊敬との関連について理解してゆく。	
1	伝統的宗教における生命と身体	フレイザー、バハオーフェン、フロイト等を参考にしながら原始社会における生命身体観を論ずる。	
2	古代哲学における生命と身体	プラトン、アリストテレスを参考にしながら古代哲学における生命・身体観を論ずる。	
3	近代哲学における生命と身体	デカルト、カントを参考にしながら近代哲学における生命・身体観を論ずる。	
4	伝統的社会における死	フョエルバッハ、アリエスなどを参考にしながら前近代社会における死の在り方を論ずる。	
5	近代社会における死	フョエルバッハ、アリエスなどを参考にしながら近代的・キリスト教的社会における死の在り方を論ずる。	
6	疎外される身体と加工される身体	デカルト、マンフォードなどを参考にしながら、身体の客体化・対象化の過程を論ずる。	
7	近代的所有権と身体	ロック等を参考にしながら、近代的人格概念の形成と身体の問題を論ずる。	
8	身体は誰のものか(臓器移植)	身体的所有権と臓器移植に関する諸問題を論ずる。	
9	近代的人権と医療	キリガン等を参考にしながら、ケアと人格的關係との関連を論ずる。	
10	人間が人間になるのはいつからか	妊娠中絶と嬰兒殺しに関する哲学的問題を論ずる。	
11	人間が人間でなくなるのはいつからか	末期医療と安楽死・尊厳死に関する哲学的問題を論ずる。	
12	こどもは誰のものか	人口授精など生殖技術に関する倫理学的問題を論ずる。	
13	医療関係者と患者の関係	医療関係者と患者との関係についての倫理学的問題を論ずる。	
14	医療行為と正義	医療資源の分配原理に関する倫理学的考察を行う。	
15	動物の生存権	生命倫理学と環境倫理学から動物の取り扱いに関する問題を論ずる。	
テキスト、教材、参考書		適宜プリントを配布し、その中で参考書を紹介する	

授業科目名	国際保健医療協力	担当教官	矢嶋和江
対象学生	3学年	学期及び曜日・時限	(集中講義)
単位	1単位	選択	教室名
回	講義題目	内 容	
1	世界の看護について	<p>< 講義概要 > 看護の対象は『人』であり、その人々の看護に当たっては、文化や宗教、生活習慣、社会経済、政治教育などあらゆる状況を視野にいれた看護のアプローチが求められている。異文化看護に関する理解を深めると共に、各国の保健医療の現況、保健医療分野に於ける国際協力の実情等について概観する</p>	
2	国際協力とは	各国の保健医療と看護の現状について紹介し、先進国と途上国の格差について概観する	
3		国際協力の考え方の変遷 保健医療分野における国際協力 医療協力の歴史的経過を概観し、医療協力の現状と今後の課題について考える WHOの機構とその役割...WHOの機構について紹介し、健康政策における世界戦略の歴史的経過を理解する WHOとプライマリヘルスケアの理念 医療協力の分野について概説し、日本の果たしてきた国際協力の経過を理解する。	
4		国際協力のイメージと実際 看護職の業務と実際 開発途上国で求められる看護婦(士)の資質	
5	開発途上国における協力活動の実践例	1. 青年海外協力隊の活動事例	
6		2. 民間の医療協力の活動事例 3. 戦争と医療協力: 難民キャンプにおける活動 4. 国際緊急援助隊の活動事例	
7	母子保健とジェンダー	1. 途上国と先進国に於ける母子保健の現状と今後の課題 2. 伝統的医療と民族としての慣習的医療 女性と子供の健康に関する人権問題	
*	看護の国際協力の課題	1. 開発と豊かさからみえるもの 2. 国際協力の意義について	
テキスト、教材、参考書		医学書院 「国際看護学入門」	

授業科目名	歯と健康	担当教官	浅見知市郎
対象学生	2学年	学期及び曜日・時限	後期・木曜 限
単 位	1単位	選 択	教室名 4階普通教室
回	講義題目	内 容	
1	歯とはどういうものか	1) 歯の構造と機能 2) 歯周組織の構造と機能 3) 口腔内諸組織の構造と機能 4) 加齢変化	
2	う蝕(虫歯)とはどういう疾患か	1) う蝕の原因 2) う蝕の診査法 3) う蝕の治療法と予防法	
3	歯周病とはどういう疾患か	1) 歯周病の原因 2) 歯周病の診査法 3) 歯周病の治療法と予防法	
4	義歯について	1) 義歯の種類 2) 義歯の取り扱いについて	
5	不正咬合とはなにか	1) 不正咬合の原因と種類 2) 矯正治療	
6	顎関節症とはなにか	1) 顎関節症の原因 2) 顎関節症の診査、診断 3) 顎関節症の治療法	
7 ~ 15	その他の歯科疾患について	1) 先天性異常 2) 外傷 3) 嚢胞性疾患 4) 腫瘍 5) その他	
テキスト、教材、参考書		新版看護学全書 29 成人看護学 14 歯・口腔疾患患者の看護	

授業科目名	ボランティア活動	担当教官	近藤照彦
対象学生	1学年	学期及び曜日・時限	
単位	1単位	選択	教室名
回	講義題目	内 容	
1	オリエンテーション (3階階段教室)	教官紹介・ボランティア活動について・活動記録簿・単位認定について	
2	ボランティア活動		
3	ボランティア活動		
4	ボランティア活動		
5	ボランティア活動		
6	ボランティア活動		
7	ミーティング	集合・経過報告・今後の課題	
8	ボランティア活動	ボランティア活動報告会・成果発表	
9	ボランティア活動		
10	ボランティア活動		
11	ボランティア活動		
12	ボランティア活動		
13	ミーティング		
14	予備日		
15	予備日		
テキスト、教材、参考書			